



タイにおける消毒・洗浄普及による 院内・市中環境改善事業 報告書

コンソーシアム名	タイにおける院内・市中環境改善提案コンソーシアム
代表団体	東海機器工業株式会社
参加団体	TOKAI HYGIENE(THAILAND)CO.,LTD.

活動のアウトライン

□ 事業名

：タイにおける消毒・洗浄普及による院内・市中環境改善事業

□ コンソーシアム名

：タイにおける院内・市中環境改善提案コンソーシアム

□ 代表団体・参加団体

：東海機器工業株式会社・TOKAI HYGIENE(THAILAND)CO.,LTD.

□ 事業概要等

：平成31年度国際ヘルスケア拠点構築促進事業において、タイに消毒・洗浄の拠点としてTokai Hygiene (Thailand)を開設及び会社設立した。本年度事業ではコロナウイルスのパンデミックを契機ととらえ、院内・市中感染予防のために販売ネットワークの拡大とトレーニングセンターの設立による正しい衛生消毒の普及活動を行うことで事業拡大を図る。

目次

Contents		Page
I.	コンソーシアムの展開予定事業の全体図	4
II.	当事業にて期待されるアウトプット（効果）	12
III.	本年度補助事業活動内容	15
IV.	活動報告	20
V.	今後の展望	47
VI.	全体考察	53
VII.	調査結果詳細	56
VIII.	Appendix - その他附録資料	62
IX.	本報告書の二次利用について	79

1.

コンソーシアム 展開予定事業の 全体像

全体要旨

- 昨年度の国際ヘルスケア拠点構築促進事業において、タイ保健省とタイ商工会議所と密接な関係を構築し、タイ保健省における院内感染対策のガイドライン制定への流れを作ることができた
- 新型コロナウイルス感染症を契機に、タイ人の衛生管理に対する意識は大きく変化し、ビジネスチャンスが拡大した一方で、タイで日本の高いレベルの製品・技術・サービスを普及させていくためには、正しい消毒・洗浄に関する教育が不可欠である
- 本年度事業では、トレーニングセンター設立により正しい衛生消毒の普及活動を行うとともに、フランチャイズ化に向けた代理店の発掘や病院以外の在宅・事業者への環境消毒サービスのマーケティング等を行い、事業の多角化およびバリューアップを図っていく
- 最終的には院内・市中の感染対策を行う事業者として、消毒・洗浄サービスをコア技術として展開しながら、高齢化に対する日本の製品・技術・サービスを普及する拠点を構築したい

事業背景、対象国の課題・ニーズ

- 院内感染対策の法整備化、ガイドライン制定には時間がかかり、公立病院において追加費用が発生する福祉用具の洗浄・消毒サービスを導入するには法整備化、ガイドラインの制定を待つ必要がある。
- 民間病院においては、環境消毒を含めた病室内全体でのパッケージ提案や、院内レンタル等の発展的なビジネス展開が必要である。
- タイでは家庭用ベッドマットレスをメンテナンスするサービス事業者が存在しないため、ダニや失禁等に対する適切な処理ができずに困っており、そこにニーズが存在することを確認できた。タイで使用数の多い大きなサイズのベッドへの処理方法を含めたマーケティングを実施し、在宅顧客へのサービス展開を推進する。
- 環境消毒サービス（「高濃度アルコールを安全に噴霧できる唯一の技術」を活用し、アルコール清拭による消毒の品質と作業の平準化を追加することにより、事業形態に応じた様々な商品や企業と連携した複合サービスやパッケージ化提案が必要）である。

事業開始後の市場変化と市場の選択

- タイにおける病院の消毒・洗浄ニーズの変化
 1. 病院向け院内消毒洗浄の試運転を受注していたが病院の経営悪化等の理由によるキャンセルが続いた。
 2. 2020年末には介護施設の消毒もコロナ感染拡大から外部者の出入りが禁止となり、事実上病院向けマーケティング・営業活動を自粛せざるを得なくなった。
- コンソーシアムの活動ターゲットを修正し、活動エリアを病院から商業施設へ転換した
 1. 新型コロナウイルス感染症のパンデミックを契機にタイの衛生管理に対する意識は向上し、当初病院をメインターゲットとした本コンソーシアムの活動は市中環境改善をメインとするよう修正をした。
 2. 商業施設はコロナの影響を受けながらも事業存続でレストランや、オフィス、ショッピングモール等からの引き合いは多く、当面は市中環境消毒に重点を置く活動とする。
 3. 病院向けの再開時のためタイ保健省へのアプローチを継続する。
 4. 在宅向けの事業は従来通り進める。

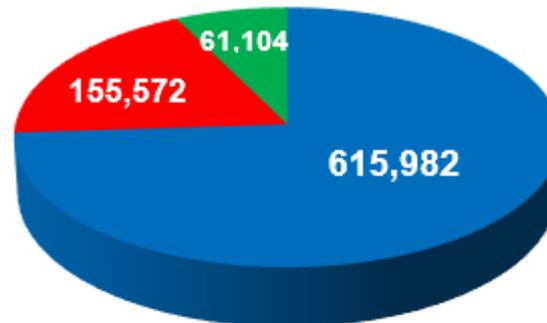
病院市場の変化（経営環境の悪化）

2020年 タイの私立病院が直面している問題：3月より検疫規制

外国人およびタイ人富裕層をターゲットの私立病院の経営に大きな打撃

余儀なく経営縮小する結果に→大幅人員削減と人件費40パーセントカット

- 1：外国人に対する入国制限が厳重規制下にあり、本来私立病院を受診する外国人患者数が減少
- 2：タイ国民へ不要不急の外出を通告した事から一般外来患者数が激減
- 3：タイの私立病院においては患者数25%を占めるに過ぎないメデイカルツーリズムによる来訪者が実は収入源の44%を占めていた
- 4：2020年度の販売業績は34%減：2019年度430億円→2020年度288億円



- タイ人
- 外国人メデイカルツーリズム
- タイ駐在員

出所：コンソーシアム作成
(出典 BDMS)

【図1】 2019年受診者数：832,658人
タイ人74.9%外国人25.1%

事業の目的

本来の事業目的

1

タイでの日本式消毒・洗浄関連製品・サービスの販売ネットワークの拡大

⇒院内・市中感染予防を図る

2

トレーニングセンターの設立

⇒人材育成を優先、正しい衛生消毒の普及活動を行うことで事業拡大を図る

3

日本製の小型消毒機器や薬剤を使用した環境消毒の充実したメニューを提供：B2B、B2C

⇒病院、複合施設、ホテルなど事業者や一般家庭へのサービス展開を強化し市場の拡大を図る。

コロナ禍での変更

高齢者介護法案発布で、タイでの日本式消毒・洗浄関連製品・サービスの販売ネットワークの拡大

⇒タイ保健省とは院内感染、タイ商工会議所とは市中感染予防で協業する

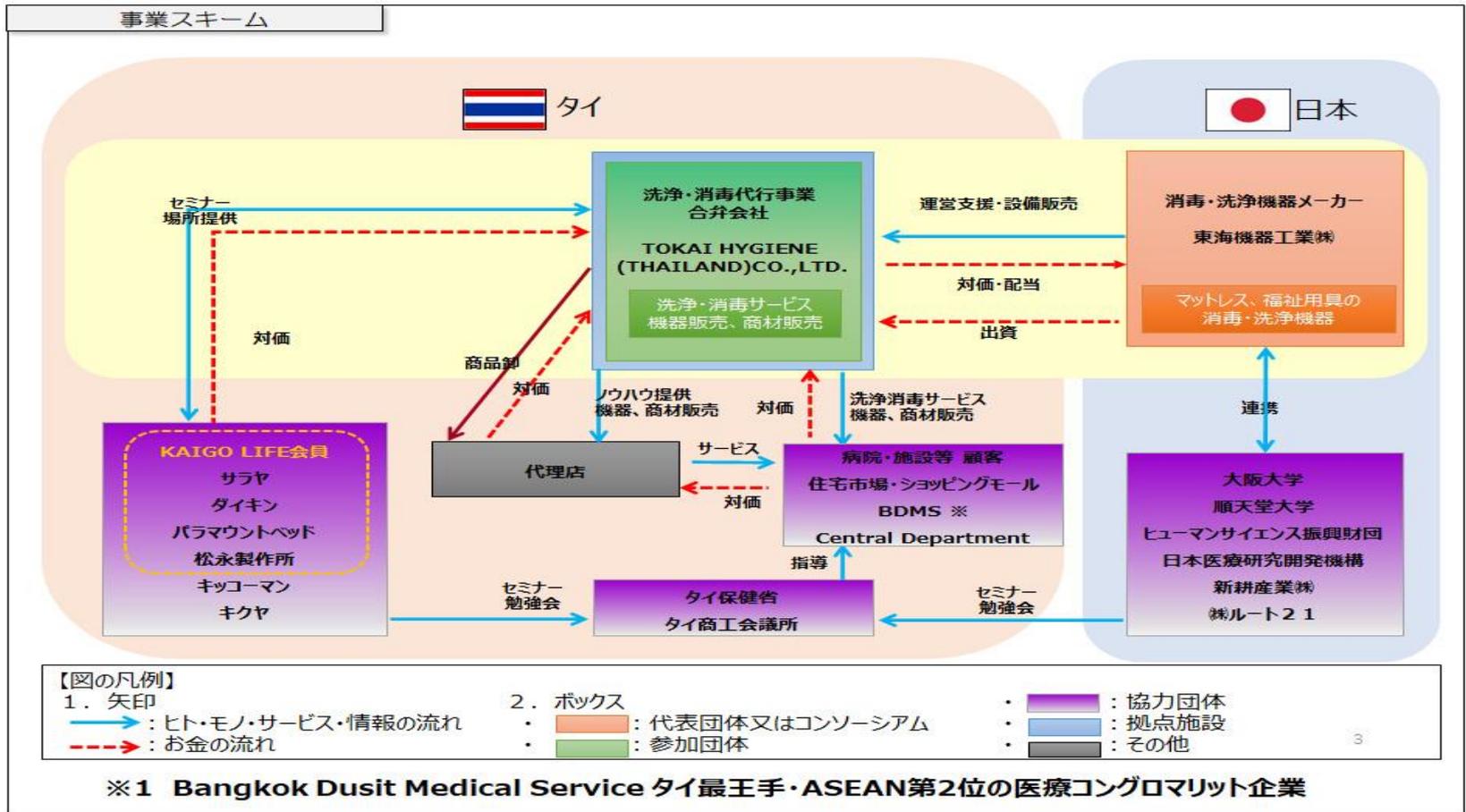
トレーニングセンターの設立

⇒実技を伴うワークショップによる人材育成プログラムから全てオンライントレーニングに切り替え、計画的な衛生消毒セミナーで事業拡大を図る

日本製の小型消毒機器や薬剤を採用し環境消毒の充実したメニューを提供：B2B、B2C

⇒私立病院経営悪化、介護施設への外部者立ち入り規制で営業先を一時的に変更し商業施設への営業で市場開拓する

これ迄の事業のスキーム・体制図



事業化までのスケジュール



2020年		2021年	
現地拠点開設	事業化準備	モデル事業開始	販売開始
<ul style="list-style-type: none">● 東海ハイジーントレーニングセンター設立● 地方、首都バンコク、周辺重要拠点への代理店提案・確保	<ul style="list-style-type: none">● 環境消毒サービスの確立● 在宅ベッド対応機械の準備● タイ保健省、タイ商工会議所への活動	<ul style="list-style-type: none">● 在宅ベッド市場のマーケティング・実証● Healthy Living Asia 出展	<ul style="list-style-type: none">● 重要拠点候補20カ所との商談● 販売代理店との契約開始● 販売代理店にトレーニング開始

II.

当事業にて
期待されるアウト
プット（効果）

普及が見込まれる製品・サービス

- マットレス、寝具類の洗浄消毒サービス (特に、下記に示す製品の販売拡大を目指す)
- 福祉用具の洗浄消毒およびメンテナンスサービス
- 病院や商業施設などの環境消毒サービス 等



【図1】

シャットノクスミニ (超微粒子噴霧消毒機)

: 液化炭酸ガスの圧力を利用することで、引火の危険性がない安全かつ効果的な高濃度アルコールスプレー消毒を実現。

【特許1959617】



【図2】

サン (マットレス消毒機)

: 湿熱にて薬剤は使用せずに消毒が可能
毒性もなく作業にも安全安心
マットレスの中心部までしっかり加熱し内部の菌・虫もしっかり処理可能。

実施相手国の裨益

□ タイ国民の健康増進及びQOL向上

- 日本式の包括的な保健衛生管理手法をタイに導入し、普及を図ることで、タイ国民の健康増進 及びQOLの向上が実現する

□ タイのメディカル・ツーリズム、観光産業への経済的支援

- 日本の良質な「検証と根拠に基づく保健衛生の知見と技術」をタイに情報共有することで、メディカル・ツーリズム、観光産業の支援に繋がり、タイ経済の発展に寄与することができる

□ タイの競争力強化

- 保健衛生管理への認識を深め、実行することで、将来的にタイにおけるサービス産業の発展に繋がり、近隣諸国との差別化となる

III.

本年度補助事業 活動内容

本年度補助事業期間の達成目標

- 消毒・洗淨の意識普及とサービス品質向上を目指すため、Tokai Hygieneトレーニングセンターを設立する（ウェビナー・VDOミーティング対応）
- 地方重要拠点への代理店提案・確保及びフランチャイズ化のため、消毒・洗淨マニュアルを作成し、トレーニング内容に関するも作成・実施を行う
- 日本製の小型アルコール消毒噴霧器の環境消毒サービスの導入・実証・販売拡大を目指す
- クイーンサイズ、キングサイズベッドに対応した特注洗淨機械の導入・実証を行う
- タイ商工会議所主催Healthy Living Asia展示会出展による啓蒙活動（※ただし、新型コロナウイルスの影響により延期）
- タイ保健省・タイ商工会議所との活動（セミナー・イベントの開催、招聘）
- 学術機関との関係を更に有意義なものにする
- ベトナム・インド医療関係者をタイに招聘、プロモーション活動（※ただし、新型コロナウイルスの影響により延期）
- 包括的にバリューアップしてブランド力を強化

本年度補助事業の実施内容 (1/2)

	実施内容	コロナ禍での変更・工夫
<p>1. トレーニング センター設立 プログラム作成</p>	<ol style="list-style-type: none">① トレーニングセンター設立、プログラム完成② 代理店・代理店候補対象のオンライン講座11月より月例で開催③ VDOミーティング実施④ ダイキン・サラヤ等と感染症対策セミナーの共同プログラム作成	<ul style="list-style-type: none">● 影響なし
<p>2. 地方・首都圏 重要拠点 代理店 提案・確保</p>	<ol style="list-style-type: none">① 代理店候補20ヵ所を3社に絞る② ディーラー対応マニュアル・トレーニング内容作成完成③ オンライントレーニング実施（感染・消毒に対する知識、製品知識、商品デモ、営業方法等）④ 合同セミナー・イベントマニュアル作成	<ul style="list-style-type: none">● 北東部地方圏への商品試運転が日程が延期となる● 首都圏・首都圏近郊への集中営業に切り替える
<p>3. 環境消毒 サービスの 確立</p>	<ol style="list-style-type: none">① 環境消毒サービスのマニュアル化② 代理店のトレーニング③ 在宅、事業者への営業④ 商業施設への営業⑤ 病院・施設への営業	<ul style="list-style-type: none">● ①②③④は影響なし● 介護施設へは立ち入り規制から待機状態● 病院への営業は景況感悪化を理由に一時的変更

本年度補助事業の実施内容 (2/2)

	実施内容	コロナ禍での変更・工夫
4. 在宅ベッド対応機 のマーケティング・実証	<ul style="list-style-type: none">① 特注機械の開発・製造・輸出入② 在宅ベッド市場のマーケティング・実証→これを機に日系洗濯業者とネットワーク構築	<ul style="list-style-type: none">● ①開発は影響なし。輸出入は断念し、昨年度輸出機械にて実証。● ②については影響なし
5. 展示会出展 →セミナー開催	<ul style="list-style-type: none">① Health Living Asia(HLA) 出展 (2021年2月11日～14日) が新型コロナ第2波到来でタイ商工会議所が延期と発表② 東海ハイジーンはタイ保健省と交渉、保健省内での大阪大学、日本大使館との日本式保健衛生(管理)セミナーを提案し、快諾される	<ul style="list-style-type: none">● タイ保健省、日本大使館後援で1-2月で4セミナー設定を当局から許可を得る →大阪大学感染制御学朝野教授セミナー開催
6. タイ保健省 への活動	<ul style="list-style-type: none">① タイ保健省 と大阪大学の感染制御学における覚書を2月末で準備	<ul style="list-style-type: none">● 影響なし
7. ベトナム・ インドへの招聘	<ul style="list-style-type: none">① ベトナムの民間団体の招聘② インド・チェンナイ薬品会社との交信	<ul style="list-style-type: none">● リモート (WEB会議) で実施を検討

本年度補助事業のスケジュール

内容	2020年				2021年		
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
トレーニングセンター設立							
地方重要拠点への代理店提案・確保							
環境消毒サービス確立							
在宅ベッド対応機のマーケティング・実証							
展示会出展							
タイ保健省・タイ商工会議所への活動							
ベトナム・インド当局を招聘							

IV.

活動報告

実証調査活動結果 (1/7)

1. トレーニング センター 設立

- 技術及び安全対策の衛生プロセス基本マニュアルが東海機器工業本社ウェブ上で資料を共有しながら学習可能な環境が整う
- 新規ディーラーのみならず一般市場への説明書が完成
- プログラムは更新を重ね内容を充実させていく方針
- コロナ禍、タイ語の日本式保健衛生教本はタイで初めての試みと保健省から歓迎される。
- 2月12日にタイ保健省健康サービス推進局アコム副局長に提出済：当局より作品へのコメントを拝受 (P. 72参照)

Sterilization of New COVID Strain ・ Guideline from Ministry of Health, Labor and Welfare

Sterilization of New COVID strain ・ Sterilization method

Method	Object	手指	Commercial products under the Pharmaceutical Machinery Law
Clean with soap and water	○	○	—
Clean with hot water	○	×	—
Alcohol based disinfectant	○	○	Pharmaceuticals and quasi-drugs
Hypochlorous acid sodium aqueous solution (Chlorine bleach)	○	×	Miscellaneous goods and pharmaceutical drugs
Detergent	○	— (Unrated)	Miscellaneous goods (some drugs and quasi-drugs)
Sodium Hypochlorite Hypochlorite water	○	— (Unrated)	Miscellaneous goods and pharmaceutical drugs

【図3】 日本厚生労働省基準を紹介

การควบคุมการฆ่าเชื้อโรคโดยสเปรย์



วิธีนี้ทำให้บริการการควบคุมการฆ่าเชื้อโรค ครอบคลุมส่วนผสมที่ไร้แอลกอฮอล์ เพื่อสร้างความมั่นใจในด้านความปลอดภัย



เครื่องอุปกรณ์ควบคุมการฆ่าเชื้อโรค ได้รับการควบคุมมาตรฐานและความปลอดภัย



ในระหว่างการฆ่าเชื้อด้วยสเปรย์ ควรลดกิจกรรมที่มีการเคลื่อนไหวทางร่างกาย เพื่อลดความเสี่ยงการปนเปื้อนหลังจากการให้บริการ

【図4】 オンライントレーニングの状況

実証調査活動結果 (1/7)

1. トレーニングセンター設立

- 日本式保健衛生の正しい知識をマニュアルに結集

Key areas to disinfect



【図5】業務中のチェックポイント (マニュアルより抜粋図)

Sample: Diamond Princess Cruise

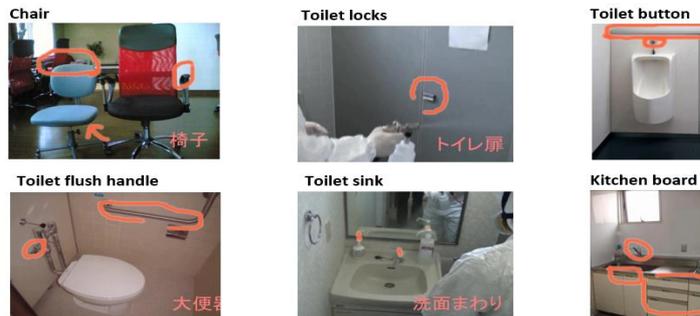
表2. 部屋の物品における SARS-CoV-2 RNA 検出頻度

Items	Number of samples tested among cabins for COVID-19	SARS-CoV-2 detected	Cq value
Light switch	33	1 (3%)	38.02
Door knob	33	1 (3%)	37.93
Toilet Button	33	2 (6%)	36.71-38.13
Seat	33	2 (6%)	36.10-37.25
Floor	33	13 (39%)	26.21-37.62
Chair arm	33	4 (12%)	36.91-38.68
Remote controller of the TV	33	7 (21%)	30.35-38.53
Phone	33	8 (24%)	31.93-37.95
Table	34	8 (24%)	34.25-37.87
Pillow	32	11 (34%)	34.61-38.99
Total	490	57 (12%)	26.21-38.99

The items that was contaminated are items that have direct contact with human hands

【図6】令和2年1月新型コロナ発生時のデータの共有 (マニュアルより抜粋図)

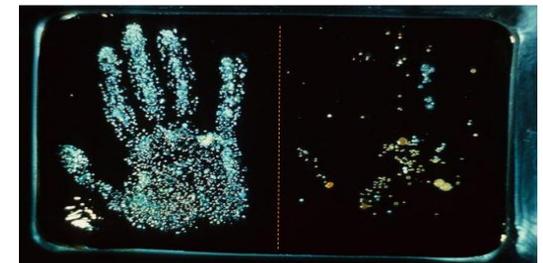
Key areas to disinfect



【図7】日常生活でのチェックポイント (マニュアルより抜粋図)

Disinfection Control spray

- Key areas to disinfect while spraying indoors are: door knobs, tables and other areas or objects that are frequently touched by people
- Human hands contain a lot of bacteria, human sweat is where the bacteria accumulates
- By utilizing spray machines it will reduce the cleaning staffs' physical contact which the object they are cleaning = Lower chance of excess bacteria being contaminated



Before washing hands with cleaning agent

After cleaning hands with cleaning agent

【図8】手洗い清潔度の可視化：使用前vs使用後 (マニュアルより抜粋図)



実証調査活動結果 (1/7)

タイ保健省提出表紙

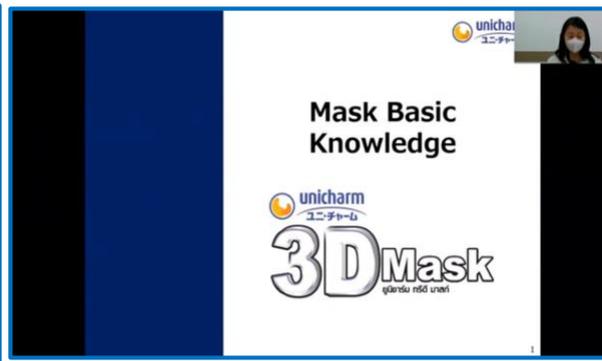
1. トレーニングセンター設立

- 東海ハイジーン人材育成（トレーニング）で使用する55分間の保健衛生教育ビデオを大阪大学と協業、作成した。

<https://drive.google.com/file/d/1ezf3qOTOJL8clPgBCDoUr0L4A1bcZ2AL/view?usp=sharing>



【図9】院内感染：大阪大学朝野先生



【図10】飛沫感染：ユニ・チャーム



【図11】空気感染：サイアム・ダイキン



【図12】手指消毒：サラヤ



【図13】接触感染：ユニ・チャーム



【図14】本ページは2月末日迄有効と明記

実証調査活動結果 (2/7)

2.

地方・首都圏
重要代理店
提案・確保

【①営業力強化のための商品・サービスメニュー多角化】

- ・ 環境消毒の新商品・サービスメニューの充実を図る。
- ・ **DAIKIN**の空気洗浄機や**SARAYA**のアルコール販売の協業が新規代理店招致の際、東海の信用獲得の後押しとなる。



【図15】新耕産業

シャット・ノクサス・ミニ (超微粒子噴霧消毒機)

：液化炭酸ガスの圧力を利用することで、引火の危険性がない安全かつ効果的な高濃度アルコールスプレー消毒を実現。

【特許1959617】



【図16】サラヤ (手指消/洗剤・アルコール)

SARAYAの信頼におけるアルコールと噴霧器

：アルコールの為、当然無臭ではないが、臭いも抑えられて、安心安全面から自信の商品。上記シャットノクサスとセット販売

実証調査活動結果 (2/7)

2. 地方・首都圏 重要代理店 提案・確保

【②地方への活動】

- 重要拠点候補20カ所へのコンタクトを完了し、タイ有数の医療ハブとされるコンケン大学近くカー・ディーラーから営業訪問開始。北部のウドンタニまで一週間かけて11か所を3件に絞り込む
- 3件の中の遠方ウドンタニへの交渉が12月コロナで長期化が懸念され、タイにおける更なる移動制限により、バンコク・パタヤ近場への営業にシフト
- 医療ハブのコンケン大学を巻き込み残り2件と交渉を継続
- 首都圏の代理店候補4件を含む6件にトレーニングを実施
- 最終的な代理店候補は3件。21年2月にシャット・ノクサス2台を販売し、代理店との契約は3月を目標としている



【図17】コンケン



【図18】東経済回廊
(重点拠点候補20カ所へのアプローチ状況)



【図19】ウドンタニ

実証調査活動結果 (2/7)

2. 地方・首都圏 重要代理店 提案・確保

【③12月初の感染第2波を受けバンコク周辺での営業を開始】

- タイ東部地区、チョンブリー、チャチェンサオ、ラヨン3県のタイ東部経済回廊 (EEC) 計画でタイ保健省は 総合的な高齢者対応の医療・ヘルスケアサービスを提供するタイ初の医療ハブ計画を手掛けている
- チョンブリー県パタヤで展開する介護施設“サンプレー”に定期的な衛生管理が他施設との差別化・付加価値と業務支援を指導した
- 保健省の推進するタマサート大学介護施設の保健衛生で21年1月27日ベッドの熱処理消毒とシャット・ノクサスを東海ハイジーン代表が直接サテイト副大臣に説明した
- コロナ禍限定的な営業活動の中、EEC地域のメディカル・スパ の衛生管理紹介を進言され保健省に同行して2月から視察を開始した



【図20】 サンプレー勉強会



【図21】 保健衛生をサテイト保健副大臣に説明



【図22】 保健省と
メディカル・スパ視察

実証調査活動結果 (2/7)

2. 地方・首都圏 重要代理店 提案・確保

【④新型コロナ深刻化、移動困難からバンコク首都圏での営業を強化】

- ・ 関係構築1年のバンコク市内で23店舗を抱える日系洗濯業喜久屋 (p31・73参照) との協業を合意、営業ターゲットを一時的に首都圏に切り替える:2台のシャットノックスの購入が決定し、3月に出荷予定である
- ・ 12月には、タイ最王手小売り企業であるセントラルグループ (p.69・70参照) に東海の業務を説明
2月中旬より同商業施設の衛生消毒サービスを開始
本格的にディーラー契約も範疇に地方展開を狙う目的で
1月から定期的に懇親会を開始



【図23】 喜久屋 1



【図24】 喜久屋 2



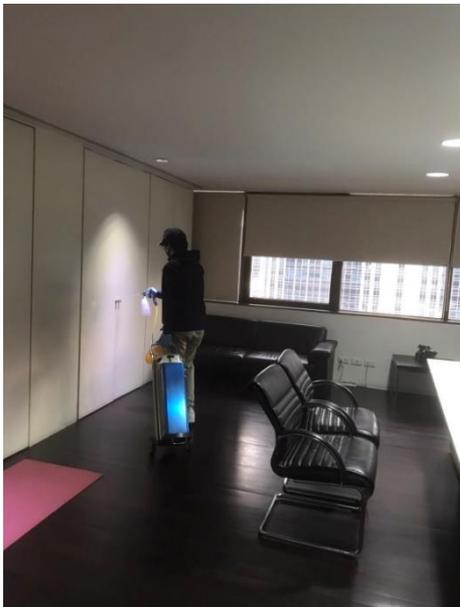
【図25】 中央: セントラルMr. Ten、右: 東海代表CP

実証調査活動結果 (3/7)

3. 環境消毒 サービス 事業確立

環境消毒サービスのマニュアル化 作成完了するも断続的に進化

- 代理店候補者のトレーニング (契約事前**11**月から実施)
 - ①バンコク・喜久屋 (日系洗濯業)
 - ②バンコク・タイヤ・トゥ・ユー (自動車タイヤ販売店)
 - ③バンコク・シルバータイヤインターナショナル (自動車タイヤ販売店)
 - ④パタヤ・パタヤネーションタイヤLMD (自動車タイヤ販売店)
 - ⑤ウドンタニ・UDマックス (自動車スペアパーツとタイヤ販売店)
 - ⑥ナワナコーン工業団地職員



【図26】 事業所作業



【図27】 作業工程も研究



【図28】 作業工程も改善を重ねる



【図29】 作業服も変更

実証調査活動結果 (3/7)

3. 環境消毒 サービス 事業確立

セントラル直属のレストランから消毒開始

- ・ 事務所洗浄のマニュアルを**飲食店作業様に改訂**する
- ・ 初回12月2日から4回の打ち合わせ、2月11日から7回の試験的にアルコール噴霧器での消毒作業を開始（残り2回、27、28日）
- ・ 大手企業であるセントラル社との取り組みで、複数回レストランのサービスを提供したことで、**商業施設作業の価格設定と作業シフト表が作成可能（2人一組）**となり商業施設向けの消毒サービス案が確立
- ・ 3月に全行程の確認と価格調整で定期契約に繋げる
- ・ 3月から本格的にマニュアル第2弾としてアフターサービス中心のプログラム作成に入る
- ・ これ迄で4人の作業員が成長している



【図30】 よかよかレストラン

セントラル・グループ保健衛生サービス試運転

	日時	顧客名	作業開始時間	作業終了時間	範囲
1	2月11日	よかよかレストラン	10時	11時半	225sqM
2	2月15日	スパゲティーファクトリー	22時	23時	111sqM
3	2月16日	スパゲティーファクトリー	22時	23時	135sqM
4	2月17日	スパゲティーファクトリー	21時	22時15分	175sqM
5	2月18日	Sakura レストラン	22時	23時5分	125sqM



【図31】 スパゲティーファクトリー



【図32】 作業服

実証調査活動結果 (4/7)

4. 在宅ベッド 対応機の マーケティング

在宅ベッド対応機の訪問・アンケート調査実施・実証

- 当初介護施設へのマットレス洗浄中心に開始されたが、12月の施設出入り禁止から発注はマットレス以外での洗浄を開始しベビーカー・チャイルドシート・家具ソファ洗浄に特化
- 市場変動要因から大型機械の発注を延期
- 従業員は洗浄作業と営業で、ベッド、車椅子、家具、ベビーカーと多機種の洗浄技術を習得する好機となる
- 市場変化に臨機応変に対応する営業知識・能力も学習



【図33】 介護施設へ配達
Sawakanives



【図34】 マットレス・寝具



【図35】 ベビーカー
チャイルドシート



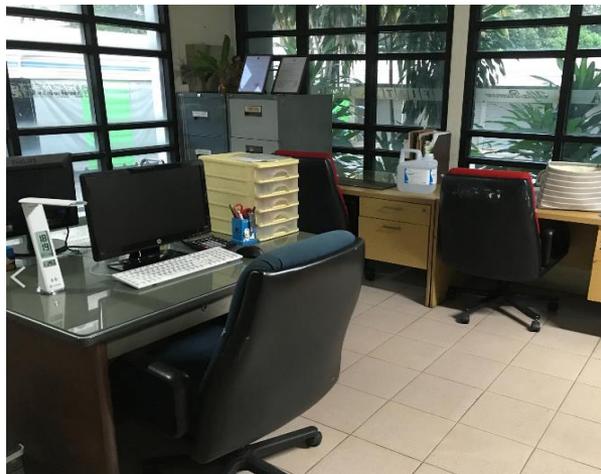
【図36】 ソファ

実証調査活動結果 (4/7)

4. 在宅ベッド 対応機の マーケティング

2月8日：喜久屋との本格的保健衛生ビジネス協業構想

- 業務上 **洗濯と洗淨の敷居を撤廃**：顧客データ共有、商品多角化、新規顧客獲得路線で合意する
- 喜久屋より保健衛生事業で工場建設移転の相談を受ける
- 東海ハイジーンの敷地内に喜久屋工場建設を想定
- タイに日本式生活密着型の洗淨（洗濯・衛生）手段を発信する構想
- 今年度年末稼働に向けて東海ハイジーン合同工場建設で 調査を開始、プロジェクト化
- 施工業者にコンタクト開始



実証調査活動結果 (5/7)

5. 展示会 出展

Healthy Living Asia が主催者タイ商工会議所より延期と発表となった

- 本展示会出展にむけて進めてきた公衆衛生コンソーシアム構想が実現され新たな活動へ発展した。

実証調査活動結果 (6/7)



令和2年度沿革：院内感染制御学の意義をタイ保健省と共に学習

6. タイ保健省 との活動

- 令和2年大阪大学朝野和典感染制御学研究室のSATREPS*申請においてタイ側、日本側のサポートとして3月の依頼より協議を行い、11月9日申請迄に複数回のオンライン面談を重ね、学術機関と関係を構築
- 本件申請データ説明は“タイ国における日本型感染症対策支援と新規技術を応用した感染制御の導入”で本プログラムの内容と意義を①タイ保健省②タイ外務省③JICAタイランド④JICA日本⑤タイ商工会議所(社会実装の準備)に伝えるという困難な役割を経験
- 保健衛生事業に携わる東海ハイジーンにとっては非常に障壁の高い学習の連続であったが、結果、新型コロナ感染拡大禍、最新の感染問題対策に取り組む日本の姿勢をタイ当局に伝える事が可能となり最終的に協力体制の同意を得られた背景がある
- KAIGO Lifeから12月末タイ保健省での当初“日本式介護医療セミナー”をタイ保健省の意向で“日本式院内感染・保健衛生セミナー”に内容変更との連絡が入り、大阪大学朝野先生に急遽タイ保健省でのオンラインご登壇を依頼。東海ハイジーンもセミナーの中で事業紹介を行う。

*独立行政法人国際協力機構（JICA）65%と日本医療研究開発機構（AMED）35%による地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム

実証調査活動結果 (6/7)



1月26日 東海機器工業 タイ保健省にて第3回感染症セミナー

6. タイ保健省 との活動

- ・ タイ保健省からの意向で議題変更も、過去2度に渡る東海アレンジによる大阪大学との協業（2019年4月大阪大学視察・講義、2019年8月タイ保健省セミナー開催）の経験により、**短期間でタイ保健省の要望に対応**
- ・ タイ医療・介護福祉関係者向けのオンラインセミナー
- ・ すべてタイ語で遂行された(参加者オンライン49名+21名:70名)
- ・ スケジュールの変更があり視聴者にはご迷惑をかけたが、新型コロナ禍、タイ保健省と大阪大学の2年半に渡る友好確認と今後の展望に繋がる有意義な会合となった (p64参照)
- ・ 本イベントが契機となり大阪大学感染制御学研究室とタイ保健省の覚書に発展する (セミナーの内容はP65参照)



【図43】 サテジットタイ保健副大臣



【図44】 大阪大学 朝野教授



【図45】 セミナーの様子

実証調査活動結果 (6/7)



6. タイ保健省 との活動

1月27日 サテジットタイ保健副大臣高齢者・介護事業法案公布

- 省令で今後介護事業は「高齢者や扶養家族に対して介護サービスを提供し、健康の促進や回復を図るもの」と定義しており、「訪問介護」と「介護施設」「短期入所（ショートステイ）」の3つに分類される。この省令は日本ヘルスケアビジネス参画で重要な意味を成す歴史的潮目を迎えている
- 翌週2月1日タレス局長は大阪大学との保健衛生での協業に意欲を表明して下さい（p66参照）
- 本法案の公布により、東海ハイジーンから1名、諮問委員会への参画が決定



【図46】 高齢者・介護事業法案教書



【図47】 1月27日法案発布



【図48】 法案記者会見 後列横田一等書記官、当代表も同席

実証調査活動結果 (6/7)



タイ保健省健康サービス推進局と感染制御学で日タイ修交覚書(予定)

6. タイ保健省との活動

- 2月タイ東海代表が保健省当局とセミナー後面談、今後の協業につき下記で準備を進める
- 大阪大学との交流がタイ保健省に日本の院内感染、及び保健衛生管理を伝達出来たと認識する。
- 在タイ日本大使館指揮の下、2月末にかけて、過去2年培った大阪大学とタイ保健省健康サービス推進局との感染対策分野での学術交流について合意のうえ、覚書草案を作成。
- これによりヘルスケアビジネスはじめ、保健衛生分野の日系事業者はタイへの投資が身近となり、日本保健衛生コンソーシアムはビジネス展開で優先的にタイ事業に参画可能となる
- 大阪大学と覚書に至る支援として、MEJ様より、タイ保健省に対して日本の医療の国際展開活動を紹介頂いた(次頁)

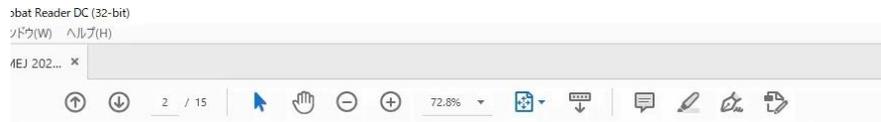
実証調査活動結果 (6/7)



2月11日 タイ保健省健康サービス、オー上席研究員とオンライン会議

6. タイ保健省 との活動

- ・ 今回のタイ高齢者・介護事業法案公布は日本のヘルスケアビジネスにとって大きな潮流となる事象
- ・ 本法案で東海が諮問委員として保健衛生の枠組み作成において本領を発揮できるかが大きな課題となる



Medical Excellence JAPAN

- **Medical Excellence JAPAN (MEJ)** promotes international cooperation in medical and healthcare services.
- MEJ was established in 2011 with the support of the Ministry of Economy, Trade and Industry(METI) to promote the globalization of Japan's medical services as public and private partnership under the philosophy of mutually beneficial international cooperation.
- MEJ is a member of the Medical Globalization Task Force in the Government and serves the secretariat function on the private sector.



Chief Executive Officer
Tatsuya Kondo, M.D., Ph.D.

Tatsuya Kondo M.D., Ph.D.

- 2003 Hospital Director of the International Medical Center of Japan
- 2008 Chief Executive of Pharmaceuticals and Medical Devices Agency (PMDA)
- 2013 Advisor on Health and Medical Strategy for Cabinet Secretariat of Japanese Government, and the Vice President of Medical Excellence JAPAN
- 2019 **Chief Executive Officer of Medical Excellence JAPAN**
Chief Executive Emeritus of PMDA



【図49】
オンライン会議の様子

実証調査活動結果 (6/7)

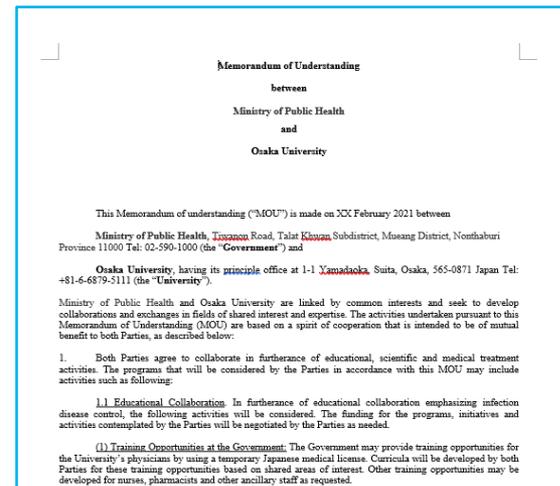


2月17日 在タイ日本国大使館横田一等書記官とオンライン会議

6. タイ保健省 との活動

覚書準備に向けて確認会議

- ・ 既にタイ保健省、大阪大学、横田一等書記官の3者間で合意している覚書草案について内容を確認する
- ・ タイ保健省健康サービス推進局と大阪大学感染制御学部との書簡とする
- ・ 活動内容を具体化・充実させる為、年2回の勉強会で設定提案
- ・ 感染制御学サイエンス・リサーチを目的とする
- ・ 2月末、内容を校正し横田一等書記官より大阪大学へ提出。



【図50】 上段右から時計回り：KAIGO Life・大阪大学朝野教授研究室・横田一等書記官) / 共有した覚書ドラフト

実証調査活動結果 (6/7)

6. タイ商工会議所 との活動

- KAIGO Lifeと共にタイ商工会議所定例会議へ12月から参画開始
→HLA開催延期の協議にも最初から加わり現場の動向をいち早く入手する事が出来、**迅速に対処が可能**となった
- タイ商工会議所保健衛生委員会34名の半分以上がクリニック、病院の経営者、10名が商務省、観光庁、保健省、社会開発・人間安全保障省の行政官で**新規開拓先のデータが入手**が容易となる

7. ベトナム インド 構想

- ベトナムとは緊密に連絡を取る中、今回のセントラル社との協業により得られた医療介護・商業施設向けへの日本式保健衛生の検討結果をベトナムにも発信した
- 資金力のあるインドチェンナイには5月から定期的に東海新マニュアル書の英語版を適応し関係構築及び営業を進めていく (77ページ参照)

実証調査活動結果 (新規事業)

8. 新規事業

Healthy Living Asia が主催者タイ商工会議所より延期と発表となった

- タイ保健省より感染制御学で大阪大学との2年に渡る関係構築の功績を評価頂き、結果タイ保健省との交信が飛躍的に前進・発展する
- 今後の活動展開で大阪大学を代表に
 - ①サラヤ：アルコール、洗剤
 - ②キッコーマン：消毒検査機
 - ③古河産業： クラロス除菌水（要FDA申請）
 - ④新耕産業： シャットノックス噴霧器
 - ⑤ユニ・チャーム： マスク

弊社含め7社の消毒機材の供給を受けることにより、洗淨消毒のラインアップの強化が可能となった
- “公衆衛生コンソーシアム”稼働の際、課題はFDA申請許可
- KAIGO LifeへのFDA登録申請の依頼と協業を法整備で準備



【図43】 サラヤ 直接対策
(手指消毒/洗剤・アルコール)



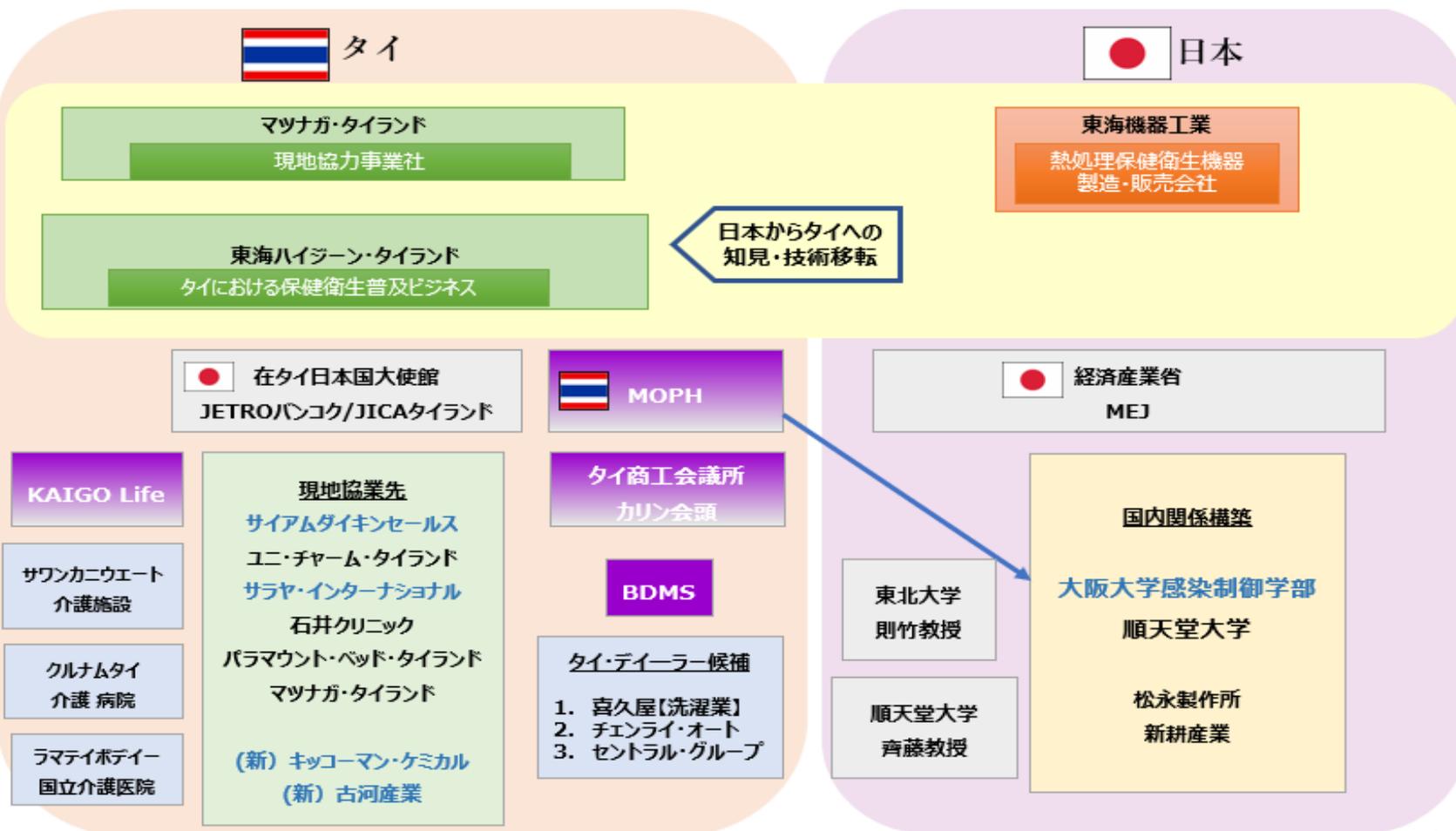
【図44】 古河産業 空調対策
(空間除菌/亜塩素散水)



【図45】 ユニ・チャーム飛沫対策

実証調査活動結果 (7/7)

公衆衛生コンソーシアム構築が実現



補助事業活動の成果

成果

内容

成果	内容
保健衛生 マニュアル 構築	<ul style="list-style-type: none">□ 技術及び安全対策の衛生プロセス <u>基本マニュアルを日タイ英で完成させた</u>□ 動画に対応し、WEB上で資料を共有しながら学習可能な環境を整備した□ コロナ禍における保健衛生マニュアル・ビデオ（タイ語）の作成を完了し、<u>21年2月にタイ保健省健康サービス推進局アコム副局長に提出後、成果物へのご指導を賜った</u>（72ページ参照）
マーケティング による実証	<ul style="list-style-type: none">□ 環境消毒、寝具類・家具類・子供用品の消毒で徹底的に営業を実施した。大小を問わず傘下に広がりがあり、<u>即効力のある相手（喜久屋、セントラル）との協業</u>が重要であるため、そういった相手企業を探すことが必要である□ 現地日系事業者（喜久屋、ユニ・チャーム、サイアム・ダイキン、サラヤ、キッコーマン）とは当社と同程度の業界知見を有していることから、協業相手として重要であると言える□ 洗浄・消毒サービスの価格帯について、<u>価格は他社比で高めとの評価されるが、顧客満足度は高く、都市部中心に支払意欲のある層は多いことを確認</u>
代理店の 獲得	<ul style="list-style-type: none">□ <u>20軒のコンタクトリストより営業をかけ、11ヵ所を訪問し3軒の候補を絞り込む（喜久屋、セントラル・グループ、トヨタ・チェンライ）</u>□ 代理店候補先の1つである日系洗濯業者喜久屋から2台のシャットノックスの購入が決定した。21年3月に出荷し、3月契約予定である□ セントラルグループ社の持つ商業施設を対象に衛生消毒サービスを開始した。今後、同社との関係性を強化することで、代理店契約の締結を目指している

補助事業活動の成果

成果	内容
公衆衛生 コンソーシ アム 構築	<ul style="list-style-type: none">日本側（大阪大学、新耕産業、古河産業）、タイ側（ユニ・チャーム、サイアム・ダイキン、サラヤ、キッコーマン、東海機器工業）にて公衆衛生コンソーシアムを構築。<u>個々ではなく日本式公衆衛生をパッケージ提案可能に</u>
タイ商工会 議所との 取り組み	<ul style="list-style-type: none">KAIGO Lifeの協力のもとタイ商工会議所定例会議へ参画し、<u>タイにおける現地ネットワーク構築</u>に繋がった
タイ保健省 との 取り組み	<ul style="list-style-type: none">タイ保健省にて第3回感染症セミナー開催<u>高齢者・介護事業法案公布で日本の技術、経験移転を推進</u>する大阪大学との覚書締結間近「感染対策に対する学術交流」

中間報告会でのフィードバックに対する対応 (最終報告会に向けたご対応依頼事項)

- 事業内容が拡散してしまったという印象を受ける
- ➔ コロナ禍においてメディカルツーリズムが完全に停止し、病院関係への展開が難しい状況となっていたが、フィードバック後に保健省（病院・施設）への展開を実施しガイドライン策定に向けた動きが進捗した。
- 保健省にて策定されたガイドラインに沿って、どのようにサービスが実装されていく計画なのか、報告してほしい
- ➔ 高齢者・介護事業法案で保健衛生の枠組み設定で保健省とは大阪大学と共に協業して行く準備が整っている。この関係を今後のビジネス展開に活用して行く
- タイにおける代理店戦略でのポイントをまとめていただきたい
- ➔ 本来強力な関係を重視し、車両系代理店の準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染悪化に合わせスプレー洗浄サービス事業を優先、結果代理店を現行洗浄作業を既に実施している事業者（喜久屋）及び、急務としている顧客を優先して代理店獲得に方向転換している。

活動を踏まえた課題や考察、 他事業者に向けた示唆

課題

内容

ネットワーク の構築

- ビジネスだけに留まらず、学術面を取り込んだアプローチ（本事業では大阪大学）方法は、保健省とのコミュニケーションに大変有効である
- タイ保健省、タイ商工会議所といった、現地の団体とのネットワークは、新型コロナウイルスの影響等で市場が変化する中でも有効である
- 商品の多角化のためには、他の日本企業（古河産業、キックマン、ユニ・チャーム、サラヤ、ダイキン、新興産業等）との協業が重要であり、日頃から現地のネットワークを構築することが重要である

人材育成

- 他の日本企業を含めたオールジャパンの姿勢が現地若手従業員の意欲を引き出すことに繋がった
- コロナ禍で行動に制限がある中、リモートワークやスマートフォンなどのデジタル機器の活用による業務効率が向上し、結果として人材確保にもつながった

活動を踏まえた課題や考察、 他事業者に向けた示唆

課題

内容

商品の多角化

- 需要市場を見極める為に視野を広げる意味から積極的に自己の活動を公開する事に努めた。タイ保健省との報告書や指導書を共有した事で、大手企業サラヤ、キッコーマン、ユニ・チャーム、古河産業の参画を受け、結果取扱商品・サービスメニューが拡充した

リスク分散 の意義

- 新型コロナウイルス等、予想しない出来事により、市場環境が急速に変わる可能性がある中で、商品を多角化し、日頃からリスクに備えておくことは重要である
- 積極的な情報公開と、勉強会を重ねる事はオールジャパンとして海外展開では市場の注目を集めやすいとタイ商工会議所、タイ保健省から指導を頂いている

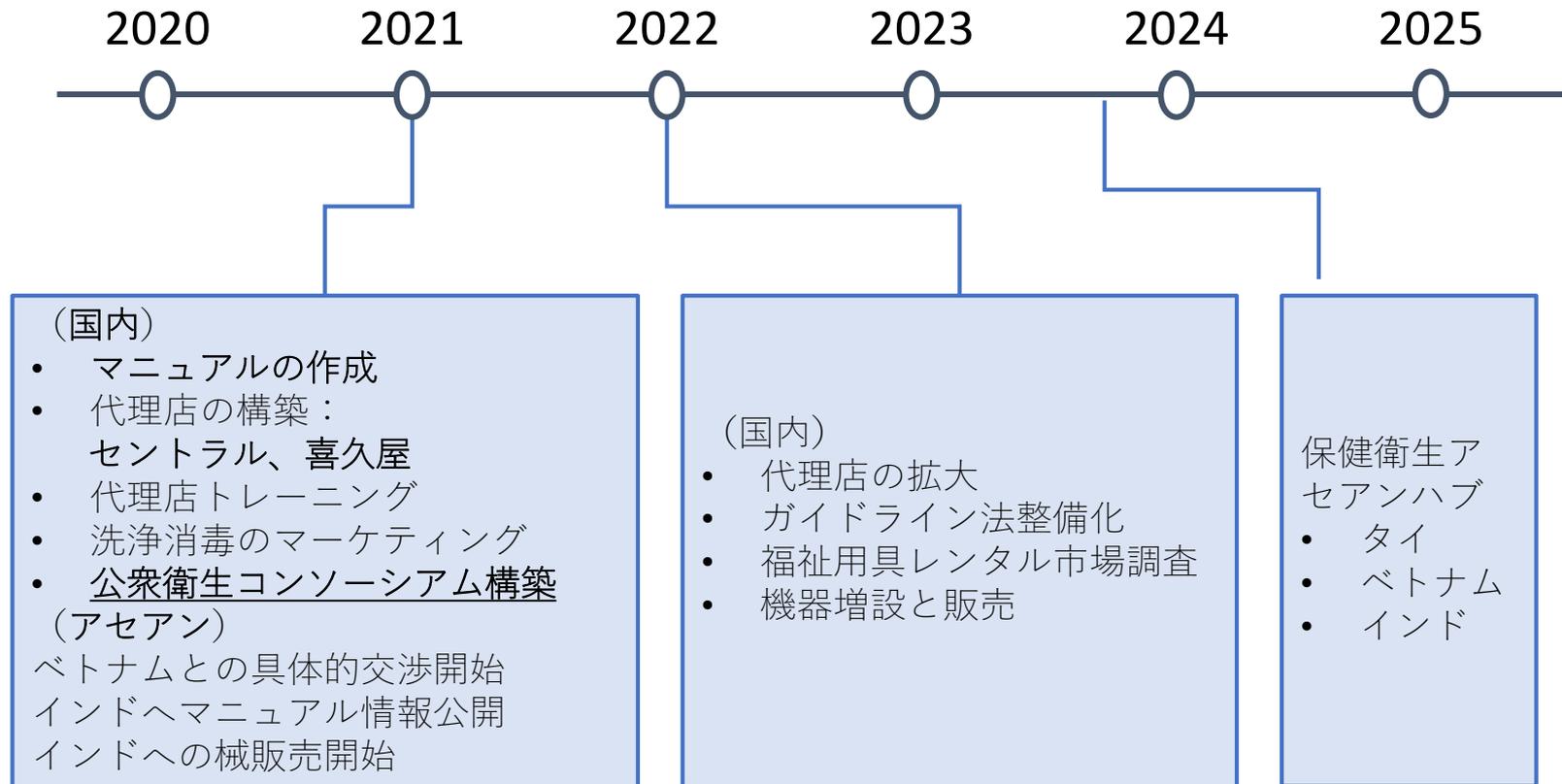
V.

今後の展望

代表団体・参加団体の今後の活動計画

- タイ保健省より日本式保健衛生管理ノウハウは他国の持ち合わせない日本独自の技術の為、省内での本件民間企業委員会に参画を招致される
(東海ハイジーン担当ピチャヤ出願：p76参照)
- バンコク病院 (BDMS)グループ購買部との定期的な会合を継続
新型コロナ禍の回復状況次第で私立病院への定期的なサービス受託を目指す
- 東海ハイジーンを窓口とした保健衛生コンソーシアムへのアクセスで課題対応が可能となるシステムを構築
- 環境消毒メニューを拡大し、多角的サービス展開
- 代理店 喜久屋との連携を強化、在宅向け市場を開拓する
- セントラルグループと商業施設内の消毒サービス提供と代理店展開を目指す
- パートナーのネットワークを有効活用し、既存顧客、高級コンドミニアム顧客に対して、コロナ禍の状況を判断しながら、クイーンサイズ、キングサイズ対応の機器導入に努力をしていく

代表団体・参加団体が受ける今後の事業プロフィット (3-5年)



補助事業で設立した拠点・会社等の収支計画 (3-5年)

収支項目		開始年度	2年目	3年目	4年目	5年目
収入	洗浄・消毒 (病院)		10,800	10,800	10,800	10,800
	洗浄・消毒 (在宅)		16,200	16,200	32,400	32,400
支出	イニシャルコスト		2,000		7,000	
	ランニングコスト		900	900	1,200	1,200
	営業経費		2,160	2,160	2,160	2,160
	人件費	4,339	12,000	12,000	12,000	12,000
	事業費	4,694	4,800	4,800	4,800	4,800
	委託費	12,034				
合計	単年度	-21,068	5,140	7,140	16,040	23,040
	累計	-21,068	-15,928	-8,788	7,252	30,292

東海ハイジーンタイランド 今後の戦略

高齢者・介護事業法案を最大に活用する

1. 保健衛生条項作成段階でタイ当局と関係構築→諮問委員会に参画
2. 日本の独自の人材教育手段を当局に開示して行く
3. 日本からの商品の多様化→景気変動対策としてリスク分散
4. タイ商工会議所との更なる関係構築
5. 立ち位置を確認、矢印を付けず、情報開示で、なるべく一緒に行動する

日本式保健衛生コンソーシアム in Thailand

タイ商工会議所



東海ハイジーンタイランド

ユニ・チャーム

ダイキン

サラヤ

古河産業

1. **BDMS**
2. クルナムタイ病院
3. サワンカニウエート
介護施設

タイ保健省



在タイ日本国大使館



MEJ



東海機器工業
技術監修

JFR

タイ大手
商業複合企業
セントラル

日本洗浄専門企業
喜久屋

ヘルスケアビジネス：CPグループに対する戦略

- 本件日本式保健衛生をタイ保健省と学習の最中**2月21日**、タイ最大財閥で中国に深いパイプを持つ**CPグループ**（**71**ページ参照）が**1**月末高齢者介護事業法公布を周到に準備、**EEC**経済特区の恩典を活用し、チョンブリ県で介護士養成学校開設を真近としている事が発覚
- 高齢者・介護事業法案は広範囲で日本の特徴を発揮しにくい点から寧ろ日本式保健衛生のプログラミング化で日本参画を打診する
- 感染制御学で大阪大学朝野研究室と既にタイ保健省が関係構築万全となっている背景を強調し日本フラッグを提示する
- 並びに、**BDMS**則竹先生（東北大学特任教授）による日本のリハビリテーションの技術は世界**75%**を占める日本の内視鏡技術に匹敵するレベルとの言及を尊重し、寧ろタイ保健省の進言で日本の技術を**CPグループ**と協業する路線も範疇に準備して行きたい

VI.

全体考察

全体考察

- 洗浄・消毒サービスにおける現地の具体的なニーズ、直面している課題
 - ・ コロナ禍において個人レベルで消毒意識が上がり、富裕層は3世代同居が多く本サービスのニーズは高まっている。メディカルツーリズムが完全に停止し、病院・施設関係への展開が難しい状況となっている。
- 本件を通じた成果・課題・示唆
 - ・ 代理店：喜久屋とセントラルグループにて大きな代理店展開の道筋を確保
この代理店と如何に展開・拡大できるかが今後の大きなポイント
 - ・ 価格帯：価格は他社比で高めとの評価されるが、顧客満足度は高く、都市部中心に支払意欲のある層は多いことを確認
 - ・ 人材育成：他の日本企業を含めたオールジャパンの姿勢・デジタル機器の活用が
現地若手従業員の意欲を引き出し人材育成に成功
 - ・ 差別化：オールジャパンによる確かな商品品質、単品ではなくトータル提案
 - ・ 模倣対策：日本式工程管理によるサービス品質の差別化、効果的な情報発信と教育
がポイント

全体考察

□ 事業化に向けた今後の取り組み

- ・ 今後の代理店とのアクションプラン
喜久屋との連携を強化、在宅向け市場を開拓
セントラルグループと商業施設内の消毒サービス提供と代理店展開を拡大
- ・ 公衆衛生コンソーシアムでの具体的な施策
BDMSグループ購買部との定期的な会合を継続し定期的なサービス受託
タイ保健省と定期的なセミナーやイベントを企画・開催し、正しい知識・情報、勉強の場を提供
- ・ 高齢者・介護事業法案策定に向けた諮問委員会への参画
ガイドライン策定及び最新情報の入手によって事業への反映
- ・ 東海ハイジーンの合併パートナーのネットワークを有効活用した、既存顧客、高級コンドミニウム顧客に対して、クイーンサイズ、キングサイズ対応の機器導入をコロナ禍の状況を判断しながら検討

VII.

調査結果詳細

タイ保健省が最優先で進めているプロジェクト：保健衛生学の推進

- 新型コロナ感染症以前は医療機関以外では正しい保健衛生意識と教育が重要視されていなかったが、突然の有事で市場は対応に迫られる一年となる
- タイ市場が一番必要とするノウハウ
 - ・ 協業を進めている日系衛生事業者は過去20年の衛生マニュアル、教育システムが整備されていた
- 日本企業複数社で「保健衛生コンソーシアム」を組み、現地市場へのプレゼンスを上げる⇒タイ保健省との勉強会を通じて今後協力
 - ・ 院内感染：大阪大学のこれ迄の看護師、介護士への本来の衛生管理上の知見
 - ・ 飛沫感染：ユニ・チャームのマスク学習
 - ・ 空気感染：ダイキン、新耕産業、古河産業の空気洗浄技術
 - ・ 手指感染：サラヤの手洗いの手順と公共施設での管理体制
 - ・ 接触感染：東海の根拠に基づく熱処理消毒の意義と技術
- 保健衛生マニュアル作成委員会（タイ保健省の委員会）
 - ・ 健康サービス推進局の研究者によって週1回程度 意見交換会 及び 施設視察が開催され参加
 - ・ 商業施設への視察に東海ハイジーンが同行し、レポートを作成し提出（保健衛生コンソーシアムも同行）
 - ・ 実施期間は2021年度2-6月の4か月間
 - ・ 調査資料は年後半公布の「高齢者・介護事業法案法案」作成の材料となる

タイ保健省：高齢者・介護事業法案

- **高齢者・介護事業法**

1. 本法令は官報公示日から 180 日後に施行する。 **※官報公示日：2021年1月27日**
2. 本事業者は高齢者や扶養家族に対して健康促進と回復を目的として、介護サービスを提供する。
ただし、医療法 で定められた 医療提供施設からのサービスを除く。
3. 高齢者と扶養家族の介護は保健事業所内のその他のサービスにする。
4. 高齢者と扶養家族の介護は 三つ に分けられる。
 1. 日帰りで健康づくり活動を行い、高齢者と扶養家族を介護する。
 2. 宿泊施設サービスを提供し、健康づくり活動を行い、高齢者と扶養家族を介護する。
 3. 宿泊施設サービスを提供し、健康づくり活動や緩和ケアを行い、高齢者と扶養家族を介護する。
5. 既にタイで高齢者・介護事業を行っている事業者は1月27日から基本7月25日迄の間にライセンスの申請・登録が必要となる

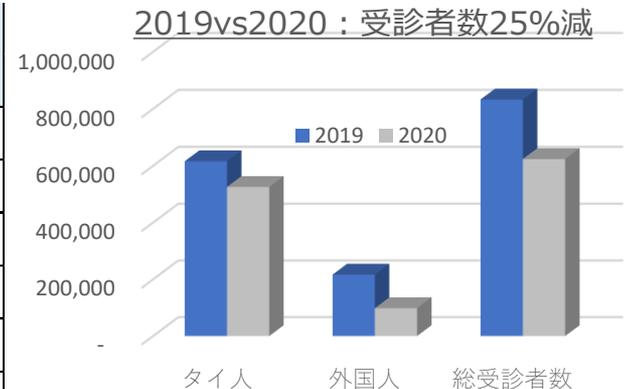
- **省令 高齢者と扶養家族の介護事業所内の施設、安全面及びサービスの基準**

カテゴリ 1：施設、安全面及びサービスの基準

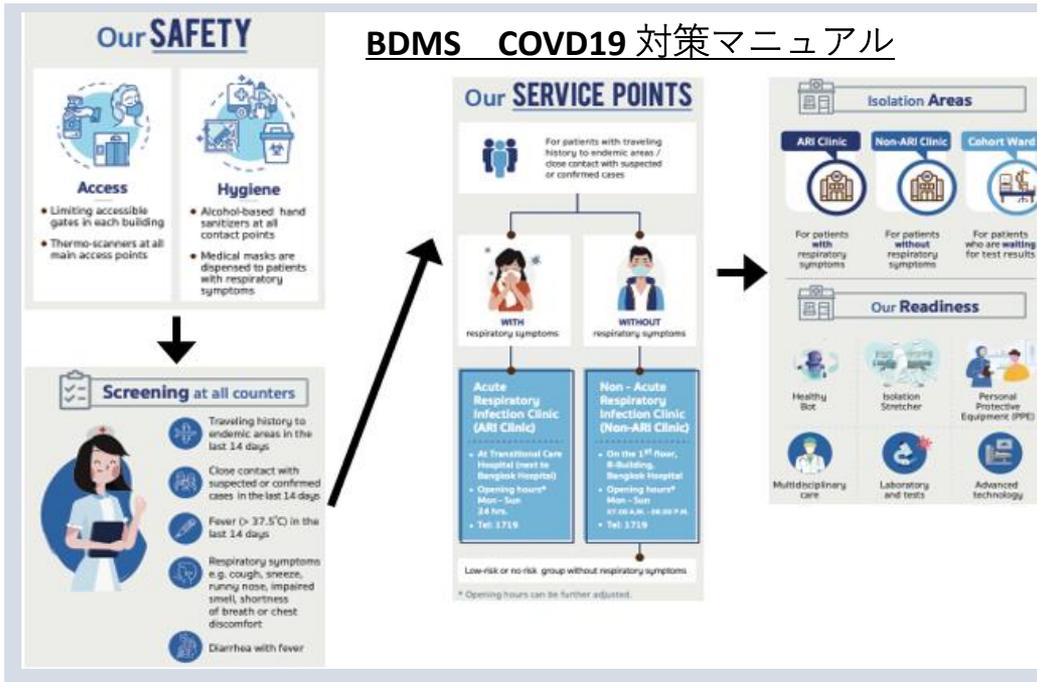
カテゴリ 2：サービス基準

コロナ禍における“医療・衛生事業者”の実態

企業名	バンコク・ドゥシット・メディカル・サービス (BDMS)
創業	1969年 (2代目)
現CEO	プラサート・プラサートンソート
2019年度売上高	約3,000億円
2020年度売上高	約2,000億円 業績34%悪化
ビジネス	医療産業：販売の半分近くが外国人メデイカルツリズム
ビジネスモデル	近隣諸国との技術競争から大型先行投資が連続：リスク先行型
グループ会社	国内49病院と購買品、医薬薬品のN-Health
2020年イベント	バンコク国際病院 (Bangkok International Hospital) を開業



外国人に対する厳重入国制限で私立病院を受診する外国人患者数が大幅に減少し、経営上大きな打撃となる



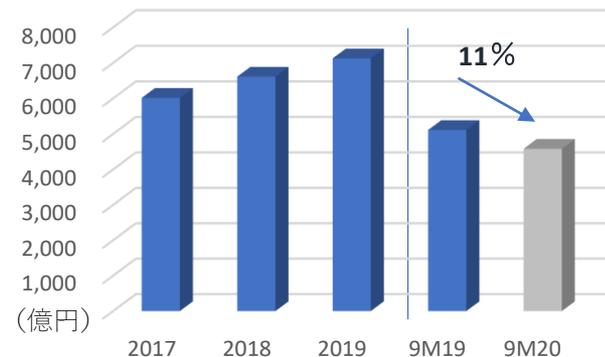
私立病院のCOVID-19の治療の実態

- 1: 限られた入り口でナースから現在の症状や渡航歴などの質問
- 2: 感染者との接触がある・症状がある患者さん
→別棟のCOVID-19専用棟へ移動、検査・診察
- 3: 症状がない患者さん・感染リスクのない患者さんは一般患者とは入り口が別のCOVID-19専用クリニックで検査・検査
- 4: 専用棟とクリニックには検査結果が出るまで待機をする部屋も特別に設置
- 5: このシステムは首都圏、地方都市でも徹底管理
- 6: PCR検査も高額 (2万5千円) で富裕層のみ検査可能

コロナ禍における“商業事業者”の実態

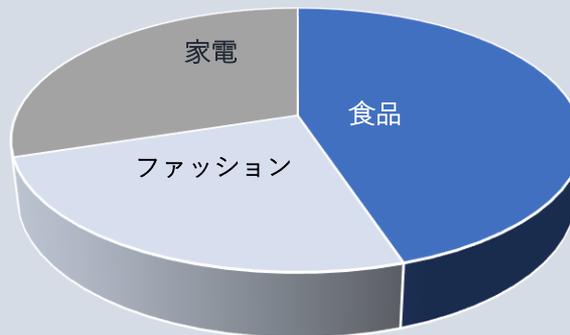
企業名	セントラル・グループ
創業	1956年（3代目）
現CEO	トッド・ジラテイワット
2019年度売上高	約9,480億円（小売り7,400億・不動産1,300億・ホテル780億）
2020年度売上高	前年比Q3 89%迄回復
ビジネス	小売り・不動産・ホテル・外食産業
ビジネスモデル	首都圏・地方と分散して投資：華僑的慎重型
グループ会社	セントラルデパート・ロビンソン・ファミリーマート・吉野家・大戸屋
2020年イベント	2020年2月に2,600億円のIPO

過去4年の売り上げ



- 観光業の落ち込みはセントラルグループ業績に打撃を与えたが、**商品の品揃えと国内市場でリスクを分散する**
- 老舗のセントラルは首都圏のみならず、地域密着型で国内に2,000の拠点展開で成長してきている。小売り部門がグループ全体の8割を占め、そのうちの**45%が食品**である為、有事下、衝撃を最小限に抑えた。注目点は売り上げ**30%を占める家電**・生活用品は前年同期比3%と限定的な下落でしのいでいる

商品別売り上げ（2020年9月）



2021年1月から2か月は外食のお酒販売は禁止
営業時間も22時と制限された



セントラルレストランも集客の為、積極的に衛生管理

コロナ禍におけるタイでの公衆衛生の実態（在宅）

タイが第2波到来で弱点を突かれる

- バンコク人口はタイ総人口の5分の1を占め、その中でも富裕層は3世代同居が多数みられる
 ➔バンコクの人口密度は東京の半分：密になり易い環境下、生産性低下を覚悟でリモート業務を通年徹底
- 3世代同居：家族のいのちを大切にするタイ国民は不要不急の外出を極力控える。一方、**正しい保健衛生の知見と経験は不十分：結果日本式保健衛生をタイ当局と協業で伝達可能となる**
- タイ政府はバンコクの大型拡大を徹底した：不要不急の外出、買い物の回数を減らす等の指導した
- 結果、保存食品や生活用品が品薄になる現象も昨年4月の嚴重体制時同様に見られた
- 年末年始は地方帰省者が激減、2月中旬の中国正月も、向こう一年半ワクチン接種が完了しない理由から集会も中止された

法令による行動制限に、国民も外国人も従っている。



コロナがタイにもたらしたもの→公衆衛生の徹底



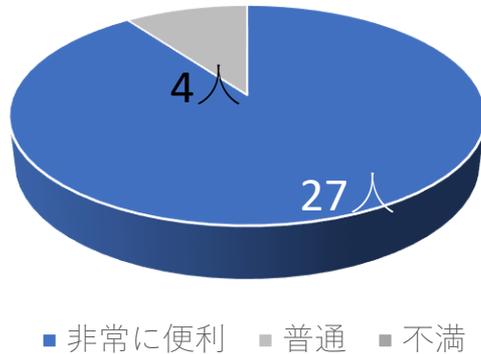
VIII.

Appendix - その他附録資料

アンケート調査

此れまでにない東海ハイジーンの包括的消毒サービスを評価頂く

①調査結果



②顧客インタビュー結果



1月：広いオフィスの衛生管理が困難な中、良いサービスを定期的に受ける事は現状需要市場に合っている。価格も広さにより設定されており顧客目線の優良なサービス

セントラル・グループ、オフィス管理マネージャー



11月：個室のベッドは熱処理消毒、公共の食堂はアルコール噴霧器とサラヤの洗剤でとても安心している。消毒関連で全て相談できて便利である



2月：他施設との差別化で宣伝が可能。付加価値のあるサービスで採用開始。

メディカル・スパ草津温泉のオーナー

サワンカニウエート介護施設の皆様

出所：図55 コンソーシアム作成

1月26日 日タイ修交 日本式保健衛生セミナー

- タイ人医療・介護者向けにタイ語で開催
- 通訳を3名入れオンラインで進行：資料150ページ
- この会議でアコム副局長/朝野教授/横田一等書記官の感染制御学覚書構想に発展した



2021年1月6日

タイ保健省感染症対策ウェビナー

議題: 日本の感染症対策について

プログラム

13:00	開式の辞	タイ保健省健康サービス推進局	タレス局長
13:10	趣旨説明	タイ商工会議所	保健衛生部 クロッド部長
13:20	日本政府よりご挨拶	在タイ日本国大使館	横田一等書記官
13:20-13:40	日本の病院の院内感染症対策について	大阪大学病院	感染制御部 朝野教授
13:40-13:50	質疑応答		
14:00-15:00	日本の衛生管理システムについて		
	1. ユニ・チャーム	飛沫感染	
	2. ダイキン	空気感染	
	3. サラヤ	接触感染	
	4. 東海ハイジーン	接触感染	
15:00-16:00	パネルディスカッション		
16:00	閉会の辞	タイ保健省健康サービス推進局	アコム副局長

【図56】 セミナープログラム

令和3年1月26日 日本式保健衛生セミナー出席者リスト			
名前	所属	タイトル	
1	Dr. Tares	タイ保健省健康サービス推進局	局長
2	Dr. Arkom	タイ保健省健康サービス推進局	副局長
3	Dr. Ngamar	タイ保健省健康サービス推進局	首席研究者
4	横田和則	在タイ日本国大使館	一等書記官
5	朝野和典	大阪大学大学院医学系研究科	感染制御学部教授
6	明田幸宏	大阪大学大学院医学系研究科	講師
7	濱口重人	大阪大学大学院医学系研究科	特任助教
8	目加田英輔	大阪大学国際共創大学院	特任教授
9	Chayaporn Phornprapha	東海ハイジーンタイランド	社長
10	則竹 淳	BDMS/東北大学	特任教授
11	早矢仕真史	マツナガタイランド	社長
12	Dr. Panvipa Krisdaphong	Specialty Innovation	Chairman
13	Dr.Theeraya Krisdaphong	Specialty Innovation	Managing Director
14	飯田 直樹	Blez Asia Co.,Ltd	CEO
15	Suchin Worawichawong	Mahidol University (Faculty of Medicine Ramathibodi)	Assistant Dean For International Relati
16	Asst Prof.Dr.Pitak Santanirand	Mahidol University (Faculty of Medicine Ramathibodi)	Assistant Dean For Graduate Educati
17	川瀬 淳一	Jica (Japan International Cooperation Agency)	企画調査員
18	Chanutta Phiban	Jica (Japan International Cooperation Agency)	Program Officer
19	松本 龍	Saraya	Managing Director
20	Dr.Nart Fongsmut	Saraya	Consultant
21	佐藤 舞	saraya	Marketing Manager-Instructor
22	Kanokon Thiraset	saraya	Sales and marketing
23	Srisak Pradubmuk	Yoka Yoka Japanese Restaurant	General Manager
24	Chayaporn Phornprapha	Matsunaka	Adviser
25	Kawashima Saburu	Banyan Tree	Senior Japanese Sale Manager
26	Ratchanida Sanguanrueng	Daikin	Sales VIP Assistant General Manager, C
27	Thanawat Numanit	Daikin	Cooperation and project development
28	柴田 康平	Daikin	Advisor Commissioning and set contr
29	Somporn Jangreenapawong	Daikin	Assistant Managing Director
30	Hasegawa Koji	kikkoman	Manager
31	清野 誠	Kikuya	Coo, Factory Director
32	Kitsak Kahawattaganon	Kikuya	Director
33	Pornchai Yongwattanasoontorn	Bridge integration	Managing Director

【図57】 登録参加者一覧

1月26日 日タイ修交 日本式保健衛生セミナー 朝野教授のご講義

1 โครงการการป้องกันการติดเชื้อ COVID-19 โรคจากเขตร้อนมหาวิทยาลัยโยฮากิ 00:35

2 Cumulative Confirmed Cases of COVID-19 by Country as of October 18, 2020 01:09

3 สถานการณ์ COVID-19 ในญี่ปุ่น 00:34

4 ภาวะฉุกเฉินทางสาธารณสุข 01:28

5 การเปลี่ยนแปลงจำนวนผู้ติดเชื้อในญี่ปุ่น 01:22

6 State of emergency ภาวะฉุกเฉิน (Soft Lockdown) 01:03

7 ภาวะฉุกเฉินและพื้นที่ระบาดในจังหวัดไอซึโมะ 00:43

8 ระบบห่วงโซ่อุปทานในจังหวัดไอซึโมะ 00:55

9 หน่วยงานหลักที่เกี่ยวข้อง 02:20

10 ทรัพยากรวิกฤต (ICU) 00:59

11 ควบคุมการระบาดตามเขตอำนาจศาลจังหวัดไอซึโมะ 00:58

12 ระบบการดูแลสุขภาพและขั้นตอนการติดเชื้อโรคจากเขตร้อนมหาวิทยาลัยโยฮากิ 00:44

13 เส้นทางการติดเชื้อ SARS-CoV-2 และหลักการป้องกัน 00:30

14 ไรโรสที่ติดเชื้อและสุขภาพจิต 00:20

15 มาตรการป้องกันและควบคุมการระบาดของโรคจากเขตร้อนมหาวิทยาลัยโยฮากิ 00:50

16 ไรโรสที่ติดเชื้อและสุขภาพจิต 00:20

17 PPE ในห้องของอาคารเรียนมหาวิทยาลัยโยฮากิ 00:20

18 PPE ในห้องของอาคารเรียนมหาวิทยาลัยโยฮากิ 00:20

19 ไรโรสที่ติดเชื้อและสุขภาพจิต 00:20

20 ไรโรสที่ติดเชื้อและสุขภาพจิต 00:20

【図58】大阪大学 朝野教授 セミナー講演資料 (出典：大阪大学)

2月1日 タレス局長保健衛生管理で大阪大学との協業を省内で表明

- กรอบแนวทางการส่งเสริมพัฒนามาตรฐานบริการ Virtual Hospital
- กรอบแนวทางการส่งเสริมพัฒนามาตรฐานบริการหุ่นยนต์ทางการแพทย์
- กรอบแนวทางมาตรฐานบริการปัญญาประดิษฐ์
- กรอบแนวทางมาตรฐานบริการอุปกรณ์ตรวจวัดข้อมูลสุขภาพแบบสวมใส่
- การแลกเปลี่ยนเรียนรู้ด้าน IC กับ Osaka University

เทคโนโลยี การแพทย์ก้าวหน้า และความร่วมมือระดับสถาบัน
医療技術の発展と機関レベルでの協力

กรอบแนวทางการส่งเสริม พัฒนามาตรฐานบริการ Virtual Hospital
仮想病院サービス (Virtual Hospital) 開発促進のガイドライン

กรอบแนวทางการส่งเสริม พัฒนามาตรฐานบริการหุ่นยนต์ทางการแพทย์
医療用ロボット開発促進のガイドライン

กรอบแนวทางมาตรฐานบริการปัญญาประดิษฐ์
人口知能サービスのガイドライン

กรอบแนวทางมาตรฐานบริการอุปกรณ์ตรวจวัดข้อมูลสุขภาพ แบบสวมใส่
身に着けるタイプの健康測定器サービスのガイドライン

การแลกเปลี่ยนเรียนรู้ด้าน IC กับ Osaka University

大阪大学と感染対策に関する学術交流

【図59】 タイ保健省内での表明内容 (出典: タイ保健省)

タイ保健省健康サービス推進局 オー上席研究員



Ms. Ngamnetr Eiamnakha Phd.

Title: Public Health Technical Officer and Researcher, Senior Professional level
Committee of Regulators reporting to the Minister of Public Health

Designation: Head of Standard Promotion and Development

Affiliation: The Bureau of Sanatorium and Art of Healing, Department of
Health Service Support

Ministry of Public Health, Muang Nonthaburi, Thailand 11000

Functional:

- A Senior Health Technical Officer on duty of Policy Analyst and Researcher: 2004-present
- A Novice Researcher of the National Institute of Research: 2005 – present
- A Resource Person of Medical Tourism Development in Thailand: 2004-present
- A Focal Point of ASEAN Health Cluster: Strengthening health system and access to care working group: 2012-present
- A Working Group of ASEAN Spa Standards: 2018-present

Siam Motors Group

企業名	サイアム・モーターズ・グループ
創業	1952年
創業者	ターウォン・ポーンプラパー氏
現CEO	ポーンテープ・ポーンプラパー

サイアム・モーターグループは様々な自動車部品メーカーと提携事業を行うほか、コマツ建機、日立ビルシステム、ダイキンエアコン、ヤマハ音楽教室といった日系企業とも提携。

最近はゴルフ場やホテル事業といった、製造関連以外の事業も積極的に展開し、2006年にブティックホテル**Siam@Siam Design Hotel&Spa**を開業。

同社は1971年度にホテル・リゾート事業へ参入。**Tropicana Pattaya Hotel**、**Siam Country Club Pattaya**など現在3つのゴルフコースを開発。

基幹事業

- ・自動車（Nissan、Hondaディーラー）自動車部品、
- ・工業・商業系エアコン（Daikin UniCarriers代理店）
- ・建設・建機(Komatsu、Hitachi)、
- ・音楽教室(Yamaha Music School)
- ・ホテル関連事業

セントラル・グループ 1

企業名	セントラルグループ (Central Group)
創業	1956年
創業者	ティエン・ジラティワット氏
現CEO	トット・ジラティワット (5代目)

セントラルグループ (英名 **Central Group**)とは、大型小売店舗・商業地開発事業を基礎としたタイ王国のコングロマリット企業で、商業不動産、外食チェーン、ホテル、専門店、高級品の5つの分野で展開。架橋系の小売財閥最大手として有名。創業者のティエン・ジラティワット氏が1925年に中国海南島からタイに移住。海外から仕入れた高級舶来品の販売で財を築き、その時に設立した会社が「中央貿易公司」で現「セントラル」の名の由来。56年には初めてとなるセントラル・デパート「中央洋行」をバンコクの中華街にオープン。生活用品から衣類、家電まで豊富な品揃えが人気を集め、人気店へと登り詰める。

1982年に将来の車社会を見越して、ショッピングセンターからエンタメ施設、飲食街、ホテル、国際会議場、オフィスフロアなどを兼ね備えた郊外型の施設を完成させたのがグルーセントラル・プラザ1号店「ラープラオ店」をオープン。

セントラル・グループ 2：ベトナム展開でのパートナーとして考察

日本経済新聞

2020年(令和2年)2月21日(金曜日)

タイ小売り王 買収攻勢

タイで第2位の規模を誇る大手財閥「セントラル・グループ」

CENTRAL Group 創業：チラティワット家(華僑財閥)

不動産	小売り	ホテル・外食
セントラル・パタナ 約1300億円	セントラル・リテール・コーポレーション 約7400億円	セントラル・プラザ・ホテル 約780億円
セントラルプラザ (ショッピングセンター)	セントラル百貨店 ロビンソン百貨店 ファミリーマート マツモトキヨシ ビッグC/GO!(ベトナム) リナシェンテ(イタリア) ほか	センタラ・ホテルズ&リゾート(ホテル) ミスタードーナツ、ケンタッキーフライドチキン、吉野家、大戸屋(外食) ほか

(注)数字は年間売上高、18年12月期。1パーツ=3.6円で計算

セントラル・グループの海外展開が加速してきた	
年	海外での事業拡大の事例
2011	イタリアの百貨店「リナシェンテ」を買収
13	デンマークの百貨店「イルム」を買収
15	ベトナムの家電量販店「グエンキム」

20日に上場したのは、セントラル傘下で、小売り統括会社であるセントラル・リテール・コーポレーション(CRC)。取引開始直後には一時1株42・25円をつけ、公開価格の42%を上回った。「世界は常に変化している。セントラルは過去の栄光にとどまることはできない」。CRCのブラザー会長は20日、上場セレモニーでこう意気込んでみせた。「世界でビジネスをさらに広げるには株式市場への参加が必要だ」。上場の狙いをこう明かし、タイ国内での事業だ

けには甘んじる」とはない強い姿勢を示した。国内外で百貨店から大型スーパー、コンビニ、ドラッグストアなど約5000店を展開するセントラル。百貨店ではタイで5割強のシェアを握り、2位ザ・モール・グループ(同2割強)を大きく引き離すなど盤石の基盤を持つ。だが創業家の総資産でタイ2位財閥の経営陣の危機感はその程度では取まらなかった。実際、今回の上場で調達した多くの資金も海外展開の加速に充て攻勢を強める見込みだ。11年にイタリアの百貨店「リナ

スイス百貨店を年内に ベトナムでは店舗4割増

セントラル中核企業上場 2700億円調達

【バンコク＝岸本まりみ】タイ小売り最大手のセントラル・グループの中核企業が20日、タイ証券取引所に上場した。約2700億円を調達し、タイで過去最大の新規株式公開(IPO)となった。資金は海外での同業買収や店舗拡大に振り向ける戦略だ。他のアジア財閥と同様に家族経営の色が強かったセントラル。だが今後は内弁慶の「タイ小売り王」から脱却し、経営陣の外部登用も増やし、世界で勝てる新たな財閥経営の絵を描き始めている。

【図60】セントラルグループ記事(出典：日本経済新聞)

CPグループ：アセアンにおける日本ヘルスケアビジネスの脅威

日本経済新聞 2019年(令和元年)6月18日(火曜日) 12版 国際・アジア 7

タイCP「一族4人に継承」

「中国が最大の市場に」 中興の祖タニン氏、世代交代急ぐ

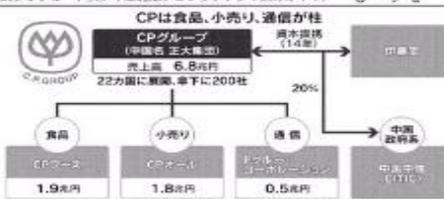
タイの健康食品大手CPグループの創業者タニン氏は、長子タニク、次子タニク、三子タニク、四子タニクに事業を継承する意向を示している。タニン氏は、中国が最大の市場に成長している中、CPグループの成長戦略を加速させるため、世代交代を急ぐとしている。

タニン氏は孫世代までの継承に意欲を示す



タニン氏は、長子タニク、次子タニク、三子タニク、四子タニクに事業を継承する意向を示している。タニン氏は、中国が最大の市場に成長している中、CPグループの成長戦略を加速させるため、世代交代を急ぐとしている。

CPグループは食品、小売り、通信が柱



CPグループは食品、小売り、通信が柱。CPグループ(中核名: 正大集団)は、売上高6.8兆円、22カ国に展開、傘下に200社を擁する。事業柱は食品(1.9兆円)、小売り(1.8兆円)、通信(0.5兆円)の3つ。中国市場はCPグループにとって最大の市場であり、成長戦略の中心となっている。

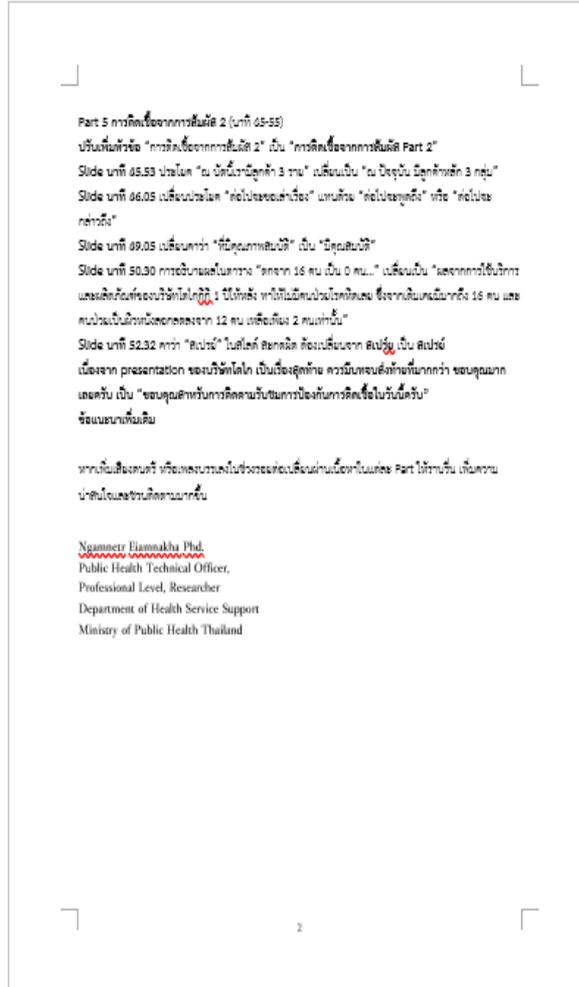
研修施設新事業に重点 「CEOは外部人材も」

CPグループは、中国市場への成長戦略を加速させるため、研修施設の新事業に重点を置いている。CEOは外部人材も採用する意向を示している。CPグループは、中国市場への成長戦略を加速させるため、研修施設の新事業に重点を置いている。CEOは外部人材も採用する意向を示している。

ASIA BIZ

【図61】 CPグループ記事
(出典：日本経済新聞)

東海ハイジーン保健衛生ビデオ教材についての保健省からの指導書



【図62】 タイ保健省 指導書 (出典：タイ保健省)

KAIGO Life会員登録で老舗 喜久屋の紹介を受ける：協業契約で最終準備



【図63】 喜久屋 ホームページ (出典：喜久屋)

タイ保健所からの助言

- 新型コロナ禍、洗濯と洗淨が歩み寄り、保健衛生の充実を図る事は意義がある。
- 今後景気回復時に向け事業拡大を模索する事は今後規制作成段階では極めて重要側面支援 頂ける旨言及下さっている
- 東海ハイジーン代表でピチャヤが保健衛生事業枠組み作成勉強会のメンバー登録で2月23日付履歴書を提出

2021年2月23日東海ハイジーンオフィスにて



【図64】 喜久屋 協業打合せの様子

東海ハイジーン代表が高齢者・介護施設法案の諮問委員で参画

ナート・フォングスムット医学博士

タイ商工会議所保健衛生委員会

タイ国立チュラロンコン大学医学部卒業後、
米国ボストン大学でMBA修得。タイ福祉医療界
では国際派の第一人者。

タイ赤十字管轄下サワン・カニウェート介護
センター初代役員を2010年から歴任。タイ商工会議所保健衛生
委員会常任理事。タイ社会開発省傘下の高齢者向け老人介護福
祉センターの役員として、アセアンでのネットワーク構築に奔走。
平成30年HCRでは国際フォーラムでタイ代表としてスランユー氏
とプレゼンテーション及びパネルディスカッションで登壇。



東海ハイジーン テクニカルアドバイザー

チャヤポン・ポーンプラパー

タイ商工会議所保健衛生委員会

米国シラキューズ大学経済学部卒業後、
同校マックウェル・スクール修士課程修了。
タイ商工会議所保健衛生委員会在籍。自動車
産業のパイオニア、サイアム・モーターズ・
グループ一族で、40社近い日本企業のパートナー

としてタイ経済を支える旧財閥のひとつ。ここ2年タイの介護事
業への潮流を察知、市場開拓でスランユー前代表・クロッド現
代表を支える。50年前日本からの日産、ダイキン、日立グル
ープ等、重工業投資招致した経験を基に、医療・介護事業分野で
日本企業とのパートナーシップを図っている。タイ保健省との
ネットワークを積極的に日本企業へ提供していく活動に従事。



東海ハイジーン 代表

今後日本のヘルスケア産業（特に介護ビジネス）の価値（商品・経験・教育）を高
齢者・介護事業法案に規制詳細作成段階から参画できることで他国との競争を優位に進
めることが可能となった

タイ商工会議所 (TCC) との徹底した関係構築 ：東海ハイジーンの役員はTCC保健衛生委員会を運営

カリム・サラシン：社外取締役

タイ商工会議所会頭
米国リハイ大学卒業後、ノートルダム大学で修士課程修得。日タイ協会会長職にある中、昨年5月より現会頭職に就任、来年には永久職として名誉会頭となる。タイのケネディ家と称される。王家にも近く政経に精通する超名門一族。祖父は首相、父は副首相を歴任。伯父は外務大臣と財閥の中でもその影響力は群を抜く。日系企業との関係は110年を数え、トヨタ、ホンダ、デンソー、いすゞ自動車、三菱電機、三菱商事、三井物産、ブリヂストン等80社に上る。昨年の訪日では麻生副首相の九州経済連合会会長と高齢者医療及び介護事業について東京で意見交換会を実施。タイ4大銀行のカシコーン銀行やサイアムセメントの理事も務める。



スランユー・チャネート

タイ商工会議所保健衛生委員会前代表、現理事。ヤング・プレジデント・オーガナイゼーション (YPO) タイランド代表。過去10年カナダ政府と提携し看護士派遣プロジェクトを遂行。年間50件のセミナー、講演をこなし全国に豊富な介護及び医療ネットワークを持つ。



ナート・フォングスムット医学博士

タイ商工会議所保健衛生委員会
タイ国立チュラロンコーン大学医学部卒業後、米国ボストン大学でMBA修得。タイ福祉医療界では国際派の第一人者。タイ赤十字管轄下サウン・カニウェート介護センター初代役員を2010年から歴任。タイ商工会議所保健衛生委員会常任理事。タイ社会開発省傘下の高齢者向け老人介護福祉センターの役員として、アセアンでのネットワーク構築に奔走。平成30年HCRでは国際フォーラムでタイ代表としてスランユー氏とプレゼンテーション及びパネルディスカッションで登壇。



チャヤポン・ポンプラパー

タイ商工会議所保健衛生委員会
米国シラキュース大学経済学部卒業後、同校マックウェル・スクール修士課程修了。タイ商工会議所保健衛生委員会在籍。自動車産業のバイオニア、サイアム・モーターズ・グループ一族で、40社近い日本企業のパートナーとしてタイ経済を支える旧財閥のひとつ。ここ2年タイの介護事業への潮流を察知、市場開拓でスランユー前代表・クロッド現代表を支える。50年前日本からの日産、ダイキン、日立グループ等、重工業投資招致した経験を基に、医療・介護事業分野で日本企業とのパートナーシップを図っている。タイ保健省とのネットワークを積極的に日本企業へ提供していく活動に従事。



หอการค้าไทย
THE THAI CHAMBER OF COMMERCE



สภาหอการค้าแห่งประเทศไทย
BOARD OF TRADE OF THAILAND

長瀬 雅利

Advisor of Executive Board, The Thai Chamber of Commerce
Committee on Wellness Business

150 Rajbopit Rd, Wat Rajbopit Sub-District, Pranakhon District, Bangkok 10200 Thailand
Mobile : +8190 2348 5662
E-mail : nagase@tokai-kiki.co.jp



หอการค้าไทย
THE THAI CHAMBER OF COMMERCE



สภาหอการค้าแห่งประเทศไทย
BOARD OF TRADE OF THAILAND

MASATOSHI NAGASE

มาซาโตะชิ นากาซะ
กรรมการบริหาร หอการค้าไทย
คณะกรรมการธุรกิจบริหารเพื่อสุขภาพ

150 ถนนราชพิพิธ แขวงวัดราชพิพิธ เขตพระนคร กรุงเทพมหานคร 10200
โทรศัพท์ : +8190 2348 5662
E-mail : nagase@tokai-kiki.co.jp

前回は政府機関との関係構築から開始した市場調査も、今回は経済団体 (タイ商工会議所) との関係構築を最優先し、内部情報を有効活用し戦略的に方向転換が叶っている。東海ハイジーンがMEJプロジェクトに採択された結果として、タイ商工会議所で日本のヘルスケア事業のプレゼンスは確実に向上した。

タイ保健省 保健衛生政策委員会に東海ハイジーンからピチャヤ出願



พิชญะ พรประภา “PUNTO”
POLICY MANAGEMENT | RELATIONSHIP MANAGEMENT | FACILITATION

วัตถุประสงค์

แสวงหาตำแหน่งที่สามารถใช้ภูมิหลังความรู้ของผมในด้านการบริหารนโยบายเพื่อการรวมเครือข่ายธุรกิจอันแข็งแกร่งที่มีอยู่ และขยายความสนใจจากผู้จ้างให้กว้างมากขึ้นไปไกลในระดับโลก

ความเชี่ยวชาญ

ความสามารถในการพูดเขียนภาษาไทยและอังกฤษ รวมไปถึงเข้าใจวัฒนธรรมเป็นอย่างดี ทั้งยังมีมีความสามารถด้านภาษาญี่ปุ่น

ประสบการณ์

KAIGO LIFE • 2018 - ปัจจุบัน
ผู้จัดการ / ผู้จัดการโครงการ
ผู้จัดงาน G2G, B2G, B2B งานจับคู่เจรจาธุรกิจ จัดการเดินทางเพื่อธุรกิจสำหรับกลุ่มธุรกิจสุขภาพ
ลูกค้า- JETRO, JICA, MEJ, กระทรวงสาธารณสุข ประเทศไทย, สถาบันเออีควรรสุขภาพญี่ปุ่นประจำประเทศไทย, สภาหอการค้าไทย และอีกหลายบริษัทชั้นนำเกี่ยวกับธุรกิจสุขภาพ (บริษัท อูนิชาร์ม (ประเทศไทย) บริษัทคารายาไทยแลนด์ บริษัทสยามโตกันเซลส์ บริษัทพารามาเทคประเทศไทย บริษัทดีซีเนะระวิลแชร์ และอื่นๆอีกมากมาย

Tokai Hygiene • 2019 - 2021
ผู้จัดการทั่วไป รับผิดชอบการตลาดและการขายต่างประเทศ เชี่ยวชาญในเรื่องบริการควบคุมสุขอนามัย ควบคุมการค้าเชื้อสำหรับอุปกรณ์สำหรับผู้สูงอายุ และเครื่องพ่นควบคุมการติดเชื้อที่ใช้อัลกอฮอล์เป็นพื้นฐาน

ผู้ประสานงานด้านวัฒนธรรม • โครงการ MEJ • กรุงเทพฯ 4-8 กันยายน 2011
ผู้ประสานงานหลักในงาน แม็คคอลล ไทย-ญี่ปุ่น เป็นตัวแทนภาคอุตสาหกรรมหลัก รวมไปถึง ฮิตาชิ ฟุจิฟิล์ม เทนจิน รวมไปถึงผู้แทนกระทรวงเศรษฐกิจ การค้า และอุตสาหกรรม ประเทศไทย อธิบายถึงความซับซ้อนของตลาดเครื่องมือทางการแพทย์ประเทศไทยและมุมมองกลยุทธ์ที่จะทำให้มีความสัมพันธ์กันแน่นแฟ้นยิ่งขึ้น ผู้บรรยายหลักประกอบไปด้วย ดร.มิชิเอะ โฮ โด รองศาสตราจารย์อาวุโส ภาควิชาแม่เหล็กไฟฟ้า มหาวิทยาลัยอุทซุนโอมะ และ โน โอบาสึ โองเมฮิโระ ได้ดูแลประสานงานอย่างใกล้ชิดกับ รศ.นพ. กฤษณ์ จาตุมาระ จากโรงพยาบาลจุฬาลงกรณ์ และ ดร. ฮิโตมุ วาตานาเบะ ประธานบริษัทฟุจิฟิล์มประเทศไทย

งานมูลนิธิมะเร็งเต้านม ศูนย์ประชุมแห่งชาติสิริกิติ์ ตุลาคมปี 2017
ผู้จัดงานและผู้ประสานงานทางวัฒนธรรม งานสัมมนา “ความตระหนัก ในมะเร็งเต้านม” ในโอกาสครบรอบ 130 ปีความสัมพันธ์ไทย-ญี่ปุ่น

บริษัท ไทยเยนโท กรุ๊ป จำกัด (มหาชน) ตุลาคมปี 2016
ผู้ช่วยผู้จัดการสายการผลิตปลาทูน่าและปลาแมคเคอเรล

บริษัท ไทยน้ำทิพย์ ตุลาคมปี 2015

บริษัท เกล็ค โด เซ็นโซริ อิงค์ กรุงเทพฯ ตุลาคมปี 2014
นักวางแผนวิจัย และสนับสนุนไทยให้กับหัวหน้าโครงการ

GL SOLUTION GROUP กรุงเทพฯ ตุลาคมปี 2014
นักวิจัยตลาด และสนับสนุนให้ CEO

การศึกษา

สาขาการจัดการธุรกิจและธุรกิจในอินเตอร์เน็ต คณะการจัดการ
นโยบาย ปีที่ศึกษา 2013-2018 มหาวิทยาลัยเคียวโต ประเทศญี่ปุ่น
ในหัวข้อวิจัย Internet's impact toward Family Businesses corporate governance

Email: pichaya.bkk@gmail.com

Contact: 081-926-2550 (Thailand)



PICHAYA “PUNTO” PHORNPRAPHA
POLICY MANAGEMENT | RELATIONSHIP MANAGEMENT | FACILITATION

OBJECTIVE

Seeking placement which takes advantage of my policy management background while also drawing upon my substantial business network in both Japan and Thailand to further the interests both of my employer, and of the wider and global communities.

SKILLS

BILINGUAL/BICULTURAL (ENGLISH AND THAI)
PROFICIENT IN JAPANESE

EXPERIENCE

KAIGO LIFE • 2018 - Present
Event organizer / Project Manager
Organized G2G, B2G, B2B business matchmaking events and business trips for Wellness business industry.
Client - JETRO, JICA, MEJ, Ministry of Public Health of Thailand, Embassy of Japan in Thailand, Thai Chamber of Commerce and various private wellness companies (Unicharm Thailand, Saraya Thailand, Siam Daikin Sales, Paramount Bed Thailand, Matsunaga Wheelchair and many more)

TOKAI HYGIENE • 2019 - Present
General Manager, in charge of overseeing sales and marketing
Specialist in hygiene control services: Disinfection control for welfare equipment and alcohol base disinfection control spray machine

Cultural liaison • MEJ PROJECT • BANGKOK 2018 - Present
Played a pivotal liaison role at key Japan-Thailand Medical Fair where, on behalf of major industry players including Hitachi, Fujifilm and Teijin, a delegation from METI explained the intricacies of the Japanese medical device market, with a strategic view to promote increased mutual relations. Keynote speaker was Dr. Mitsue Saito, Senior Associate Professor, Department of Breast Oncology, Juntendo University. On this occasion, I was personally responsible for Dr. Kris Chatanra, Chulalongkorn University Hospital, and Mr. Tsutomu Watanabe, President of Fujifilm Thailand.

QUEEN SIRIKIT CENTRE FOR BREAST CANCER FOUNDATION • SUMMER 2017
Event organizer/cultural liaison, 130th Thai-Japan friendship anniversary “Breast Cancer Awareness seminar”

THAI UNION GROUP PCL • SUMMER 2016
Tuna and Mackerel Production Line Manager Assistant

THAI NAMTHIP • SUMMER 2015
Market researcher assisting Coca Cola Thailand sales team

DECO ENGINEERING • BANGKOK • SUMMER 2014
Research planner/Translation project supervisor (English to Thai)

GL SOLUTION GROUP • BANGKOK • SUMMER 2014
Market researcher/Translator to CEO

EDUCATION

FACULTY OF POLICY MANAGEMENT • 2013 - 2018 • KEIO UNIVERSITY
Internet Business and Business Management — Kokuryo seminar group
Thesis: Internet's impact toward Family Businesses corporate governance

Email: pichaya.bkk@gmail.com

Contact: 081-926-2550 (Thailand)

ベトナム・インド向け東海 英語版トレーニングマニュアル

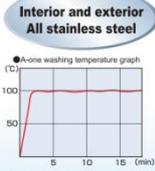
Washing&Disinfection Machine

Ozone water disinfection / High pressure & high temperature water washing machine **O-3-750**

Cleaning and disinfection of wheel chairs and bed parts Cleaning and disinfection of caster walker, air mat, slope, etc.



- Power source for 4 consecutive hours in high temperature water of 100 °C
- Only 10 seconds of rise time to use ozone water
- Usable as much as need, connection directly to the water pipe.
- High pressure and high temperature water cleaning, and sterilization and deodorization by ozone water washing.
- One easy push to change the functions.
- Very compact and can be used at home with 100 V outlet.
- Ozonized water washing is also effective to remove the floor sliminess.
- Fast drying due to high temperature water.



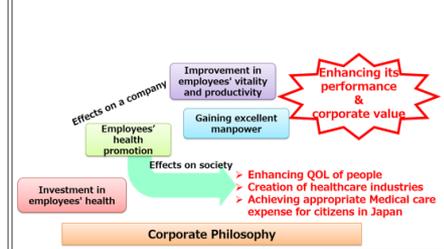
To prevent in-hospital infection by cleaning bed/mattress, wheelchair

Tokai Kiki Kogyo Co., Ltd. has been giving cleaning service for bed/mattress and wheelchair to prevent in-hospital infection in Thailand since last year. Their dryer and automatic bactericidal injection system with high heat helping to eliminate bacteria, insects, mold and odor.



Health and Productivity Management (H&PM)

"Health and Productivity Management (H&PM)" is an approach that considers health management of employees from a corporate management perspective and promotes it strategically. Such a daily health management is expected to reduce the risk of severity.

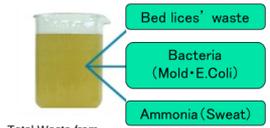


Concept

- ❖ Do you value hygiene?
- ❖ Have you ever become itchy from lying in your bed?
- ❖ When was the last time you cleaned your bed mattress?
- ❖ Our concept is to provide bed mattresses that are hygiene and is

99.999% BACTERIA FREE

What does 99.999% bacteria free mean?



Total Waste from not washing a bed mattress for 5 years



Disinfection control service

PROTECT YOUR FAMILY WITH TOKAI HYGIENE
PROVIDING JAPANESE STANDARD HYGIENE SERVICES TO YOU AND YOUR FAMILY

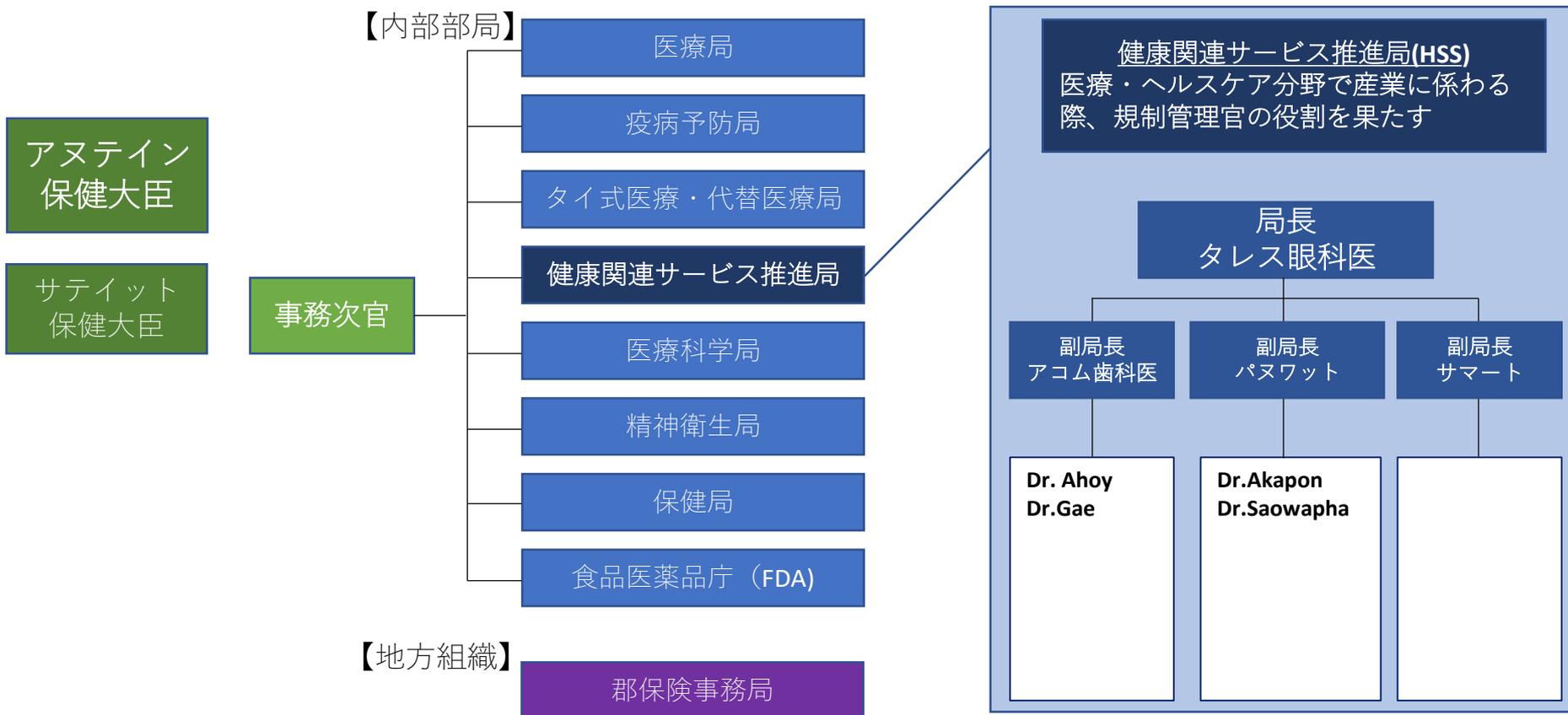
3ft bed Mattress 1,500 THB	4ft bed Mattress 1,500 THB
Wheelchair 2,500 THB	Incline Wheelchair 3,500 THB
Baby cart, seat, bed 1,000 THB	

Thanida Thongpan Tel: 086-353-1538
Bussaya Jampangam Tel: 064-623-6654



タイ保健省概要

保健省は、1942年に設立された、保健福祉、伝染病の予防管理、防護、国民の保健能力向上、法を遵守した保健公務の執行に関して責任を持つ省である。



【図67】 タイ保健省 概要図 (東海ハイジーン作成)

IX.

本報告書の 二次利用について

END